電動ミニリフタ

取扱説明書

atex

はじめに

●このたびは、アテックス電動ミニリフタ『カイリ』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●この取扱説明書は、『カイリ』（以降電動ミニリフタと記す）を使用する際にぜひ守っていただきたい安全作業に関する項目、電動ミニリフタを最適な状態で使っていただくための正しい作業・調整・整備に関する技術的事項を中心に構成されています。

●電動ミニリフタを初めて運転される時はもちろん、日頃の運転・取扱いの前にも取扱説明書を熟読され、十分理解の上、安全・確実な作業を心がけてください。

●この取扱説明書は、いつでも取り出して読むことができるよう大切に保管してください。

●電動ミニリフタを貸与、または譲渡される場合は、相手の方に取扱説明書の内容を十分理解いただき、この取扱説明書を電動ミニリフタに添付してお渡しください。

●この取扱説明書を紛失、または損傷された場合は、速やかにお買い上げいただいた販売店・特約店にご注文ください。

●なお、品質・性能向上あるいは安全性向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。
その際は、本書の内容及びイラストなどの一部が本電動ミニリフタと一致しないことがありますので、ご了承ください。

●もし、おわかりにならない点がございましたら、ご遠慮なくお買い上げいただいた販売店・特約店にご相談ください。

●取扱説明書の中の ⚠ 重要 表示は、次のような安全上、取扱い上の重要なことを示しています。
よくお読みいただき、必ず守ってください。

表　示	重　要　度
⚠ 危険	その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負うことになるものを示しております。
⚠ 警告	その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示しております。
⚠ 注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあるものを示しております。
重要	商品の性能を発揮させるための注意事項を説明しております。よく読んで製品の性能を最大限発揮してご使用ください。

目　次

重要安全ポイントについて

１．運転・作業をするときは、
安全カバー類が取り付けられていることを確認してください。

２．点検・調整をするときは、
必ず電源スイッチを「OFF」にし、バッテリコードを抜いてください。

３．補助者と共同作業を行なうときは、
合図をし、安全を確認してください。

この機械をお使いになるときは復唱してください。

安全に作業していただくため、是非守っていただきたい重要安全ポイントは上記の通りですが、これ以外にも本文の中で安全上是非守っていただきたい事項を ⚠ 重要 を付して説明の都度取りあげております。
よくお読みいただくとともに、必ず守っていただくようお願い致します。

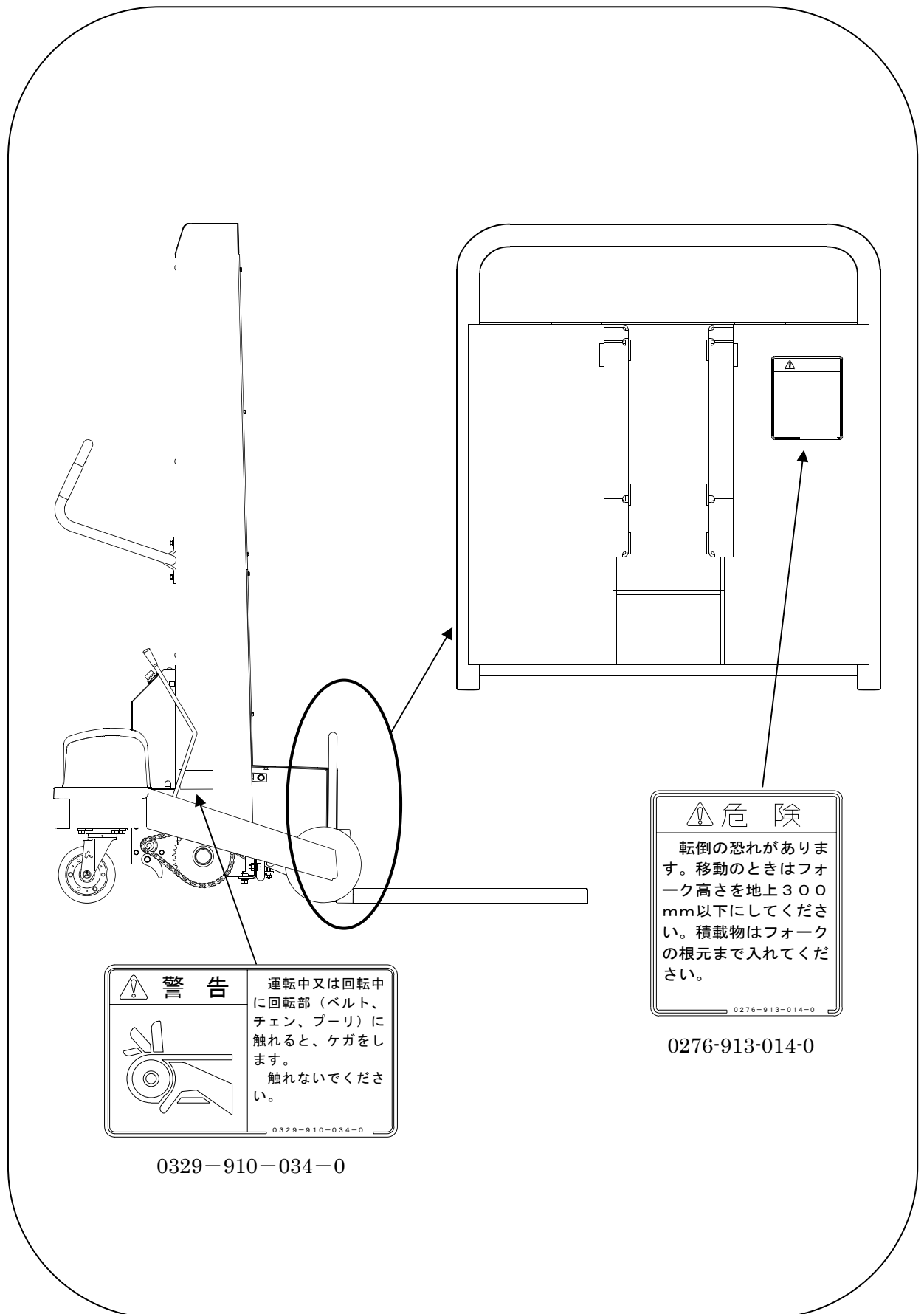
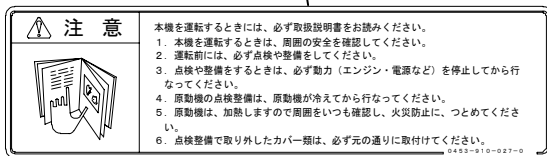
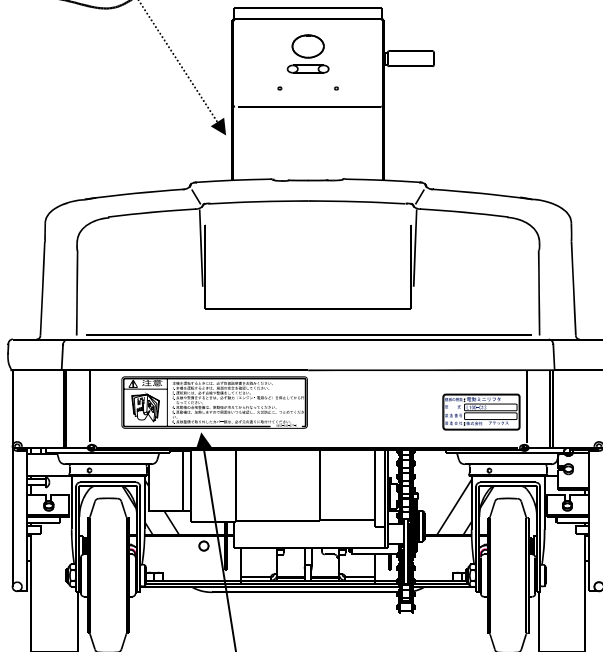
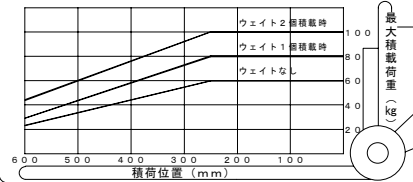
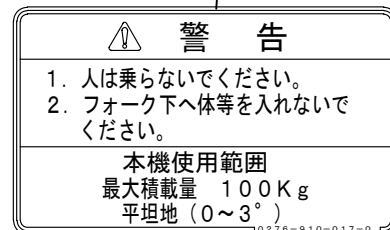
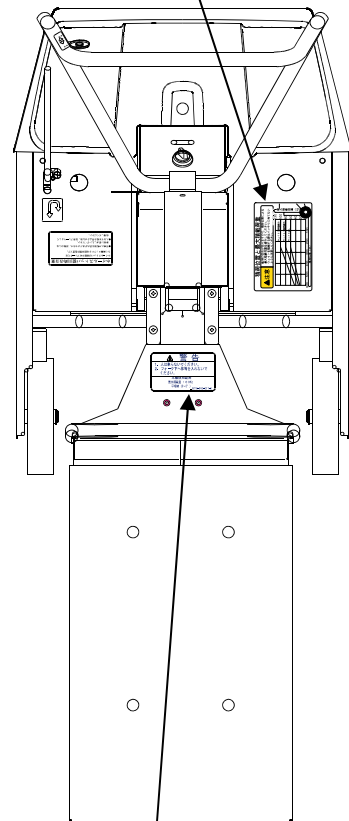
安全表示ラベルの注意

■本機には、安全に作業していただくため、安全表示ラベルが貼付してあります。
必ずよく読み、これらの注意に従ってください。

■安全表示ラベルを破損・紛失したり、記載文字が読めなくなった場合は、新しいラベルに貼りかえてください。安全表示ラベルは、お買い上げいただいた販売店・特約店へ注文してください。

■汚れた場合は、きれいにふき取り、いつでも読めるようにしてください。

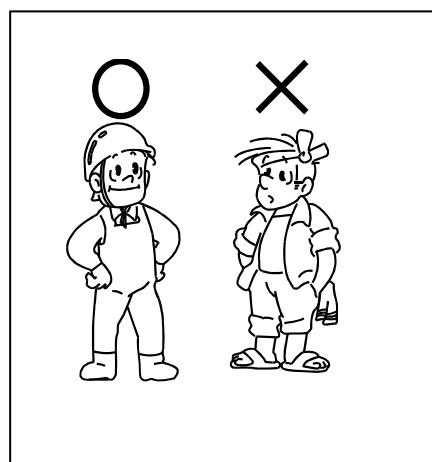
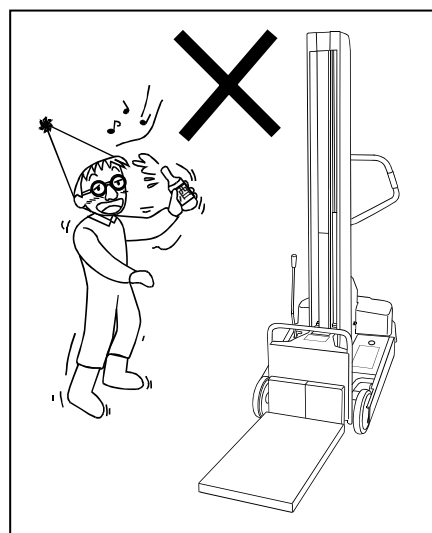
■安全表示ラベルが貼付してある部品を交換する場合は、同時に安全表示ラベルもお買い上げいただいた販売店・特約店へ注文してください。

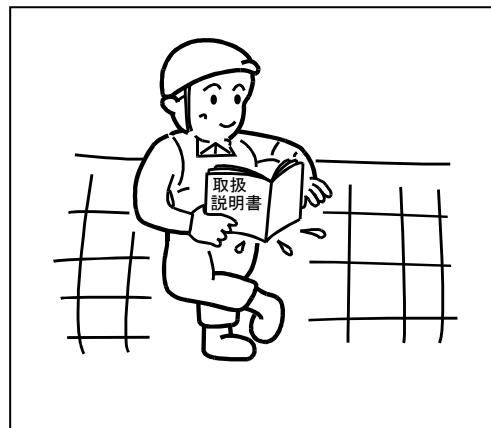
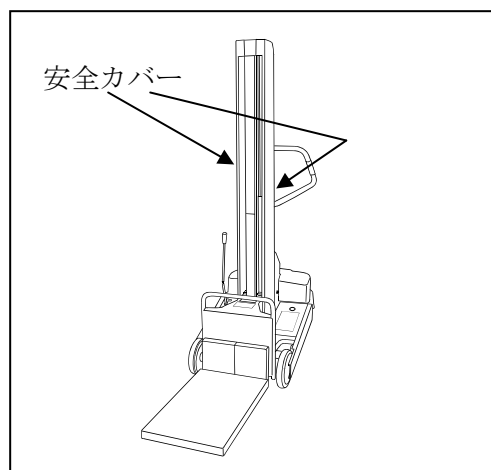
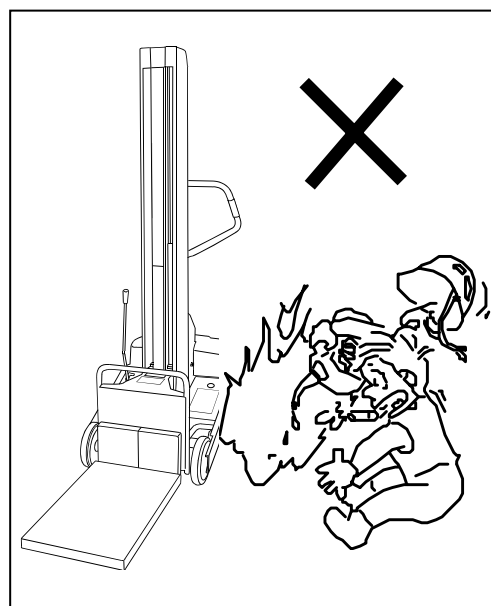
安全表示ラベル貼付位置

安全表示ラベル貼付位置

安全のポイント

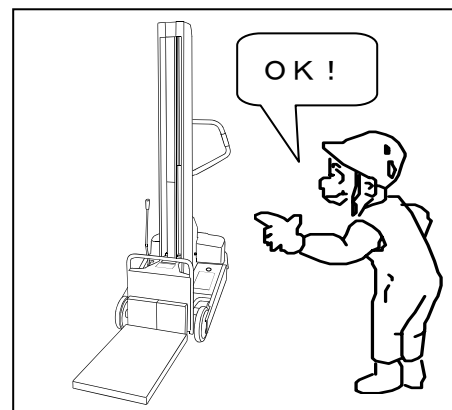
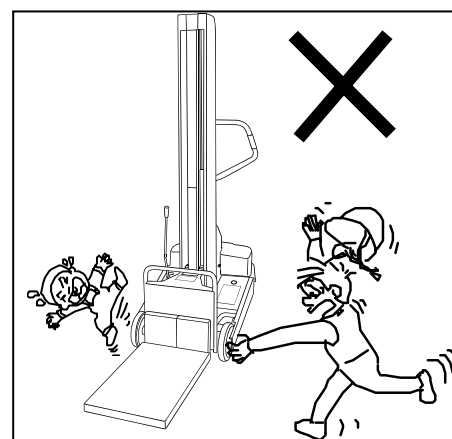
安全な作業をするために

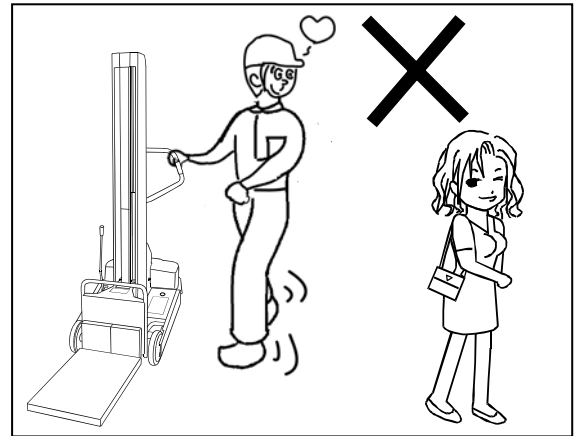
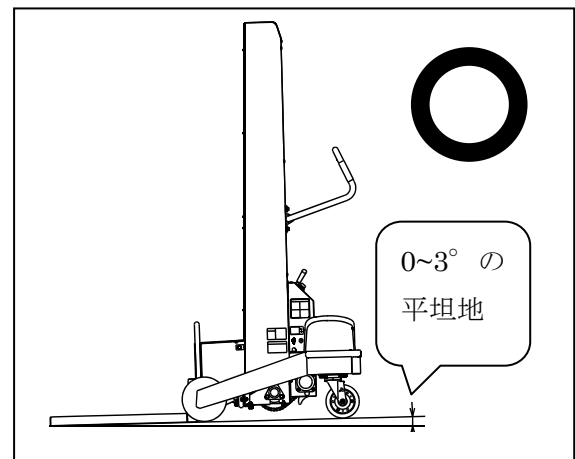
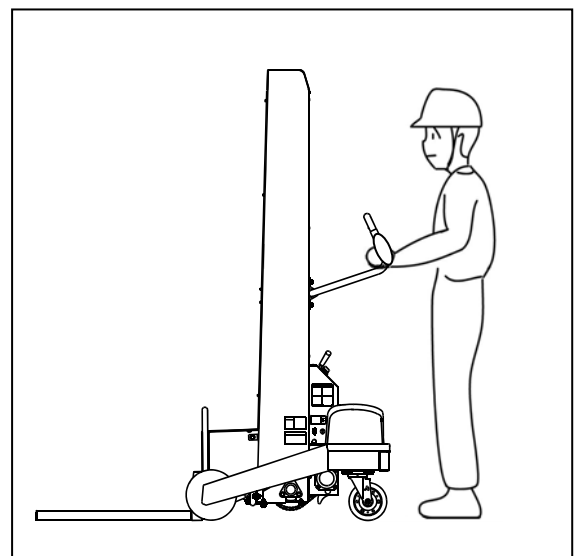
本章では、機械を効率よく安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項を説明しております。十分に熟読されて、安全な作業を行なってください。

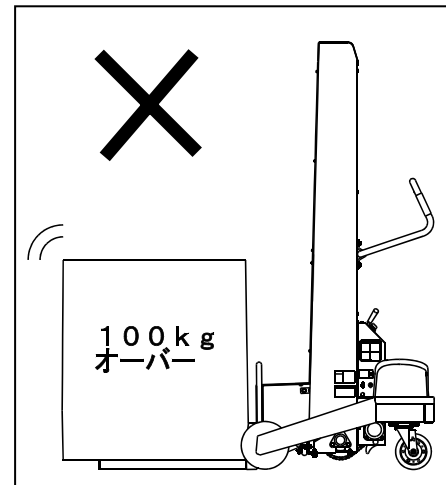
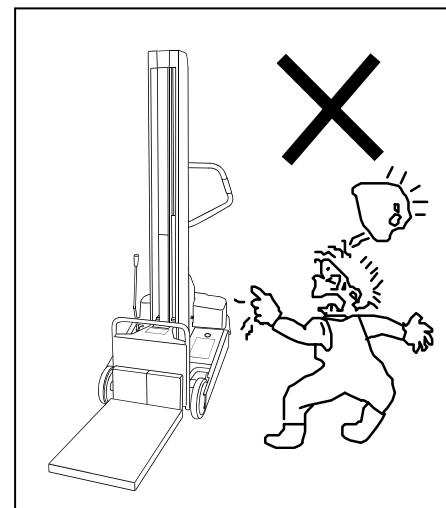
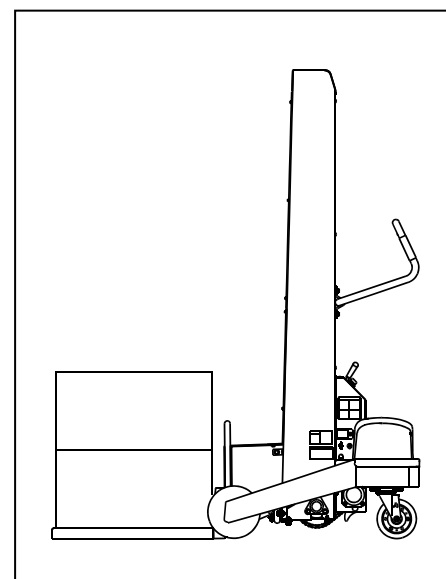
■作業の条件

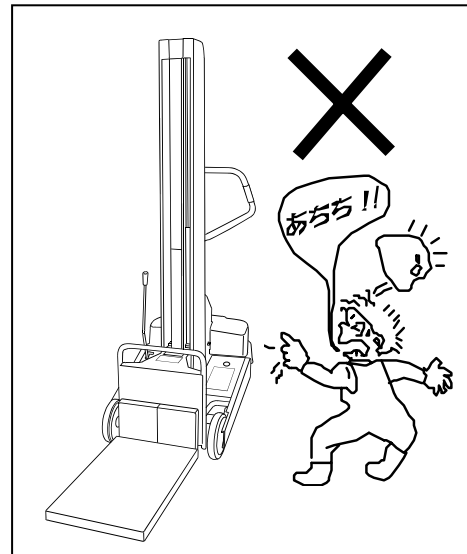
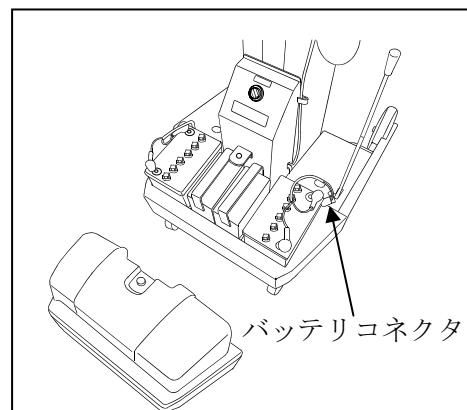
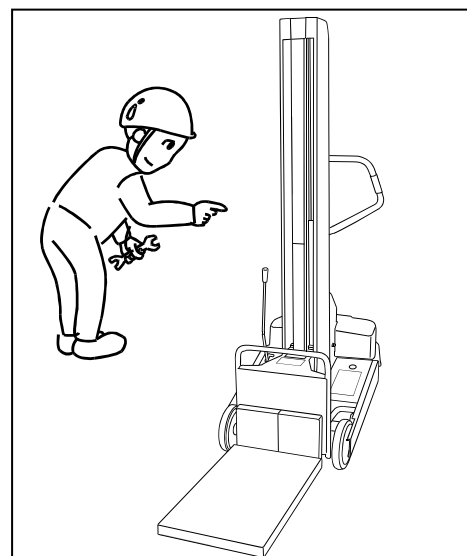
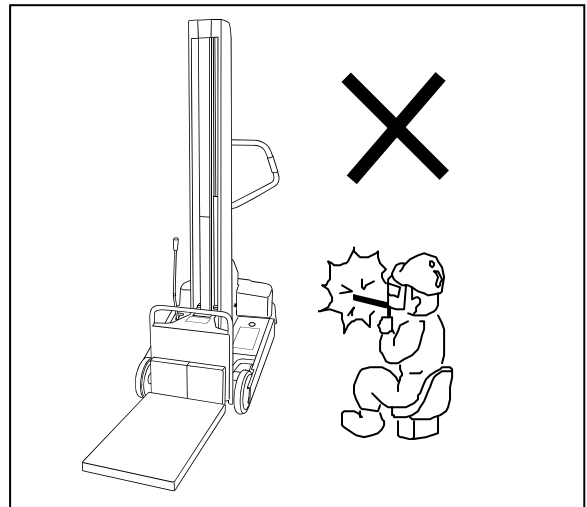
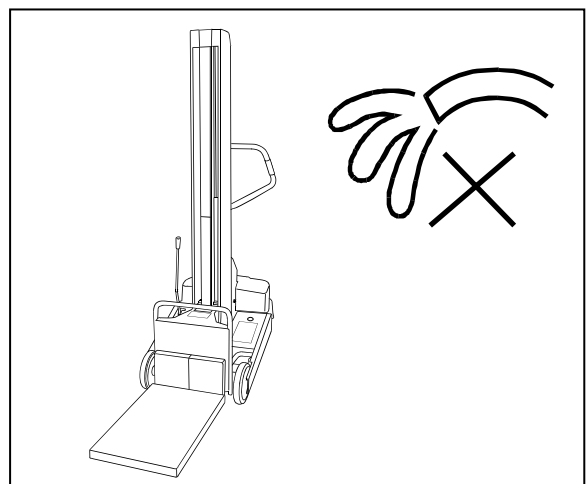
(1)　服装は作業に適したものを着てください。服装が悪いと、衣服が回転部に巻き込まれたり、靴がスリップしたりして大変危険です。
　ヘルメットや適正な保護具も着用してください。

(2)　飲酒時や過労気味の時、また妊娠している人、子供など未熟練者は絶対に作業をしてはいけません。作業を行なうと、思わぬ事故を引き起こします。作業するときは、必ず心身とも健康な状態で行なってください。

■作業を開始する前に

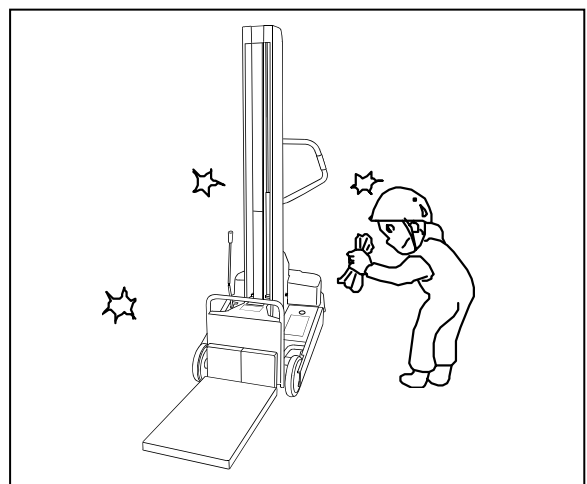
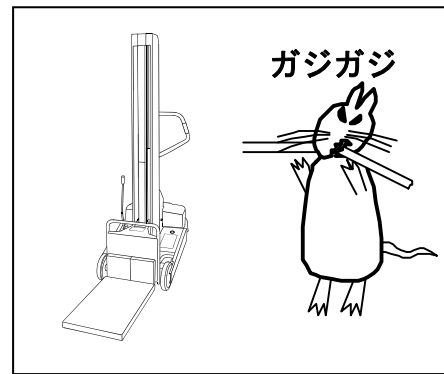
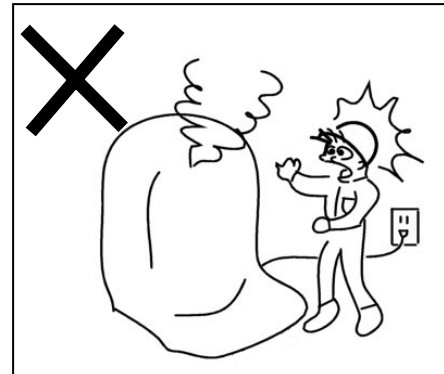
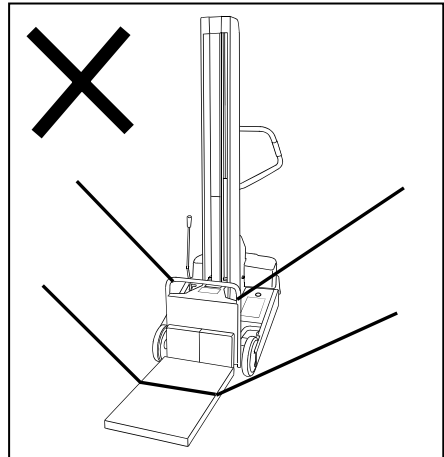
⑴　作業をする前に、本書を参考に必要な点検を必ず行なってください。点検を怠ると作業中の思わぬ事故につながります。

⑵　安全カバー類が外されたままになっていないか確認してください。外されたままで運転作業を行なうと駆動部等が露出して大変危険です。

⑶　潤滑油の給油をするときは、必ずバッテリコネクタを抜いた状態で行ない、くわえタバコなどの火気は厳禁です。守らなかった場合、火災の原因となります。

■作業するときは

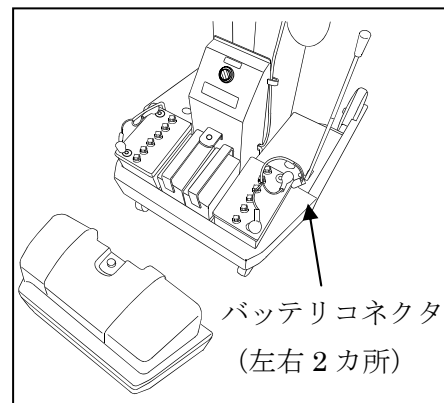
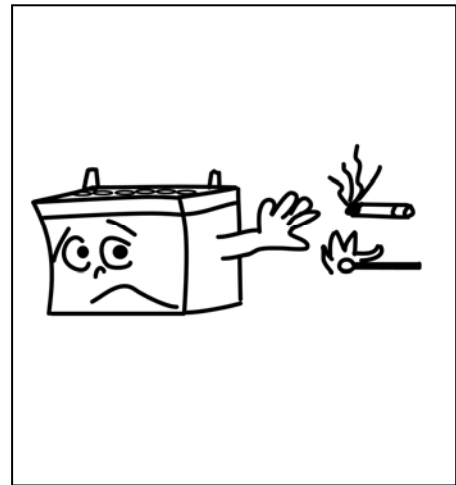
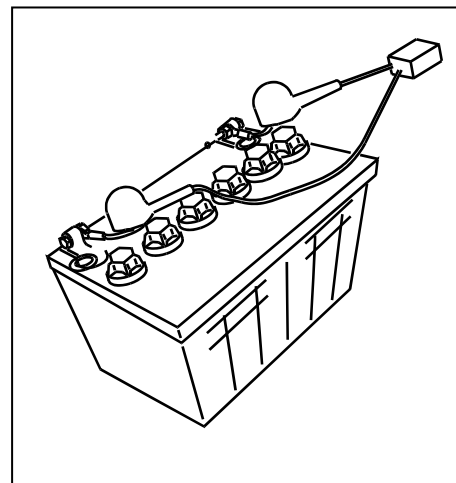
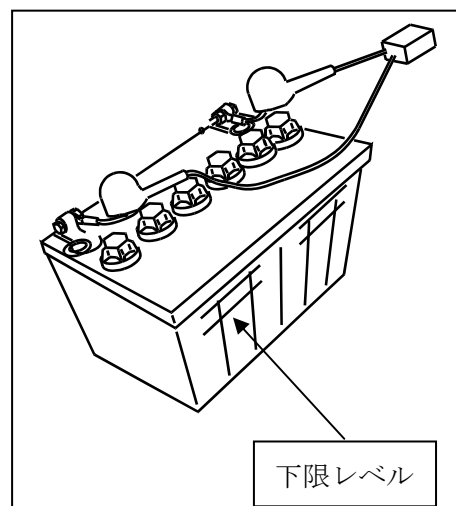
(1)　安全を確かめてから電源スイッチを入れてください。

(2)　いかなる場合も、アタッチメントに人や動物を乗せないでください。人身事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

(3)　凹凸の激しい所・軟弱地盤などでは作業をしないでください。
転倒したり、積荷が落下したりする恐れがあり、大変危険です。

(4)　わき見作業や無理な姿勢で作業をしてはいけません。進行方向や周囲の安全に十分注意してください。障害物やアタッチメントなどに挟まれたり、接触し、事故やケガにつながる恐れがあります。

(5)　傾斜地等での使用は、機体が動き出して危険です。作業場所は広い平坦な場所を選んでください。(0～3°の平坦地)

(6)　ゆっくり移動してください。

■作業中は

(1)　積載制限を守ってください。
（本書２１ページ参照）
過積載は、操作ミスを引き起こしたり破損等により思わぬ事故を引き起こし大変危険です。

(2)　作業中は、回転部やチェン・モータなど駆動部には手や体を触れないでください。
傷害事故の原因となり大変危険です。

(3)　荷物を積むときは、重心がアタッチメントの中央になるよう、また重心が高くならないようにしてください。重心が高くなったり、かたよると転倒の原因となり大変危険です。

■**点検整備は**

(1)　電源スイッチを切ってすぐに、点検整備をしてはいけません。モータなどの過熱部分が完全に冷えてから行なってください。
怠ると、火傷などの原因となります。

(2)　点検整備は、必ずバッテリコネクタを抜いて行なってください。(左右 2 カ所)

(3)　点検整備で取り外した安全カバー類は、必ず元の通りに取り付けてください。回転部や過熱部がむき出しになり、傷害事故の原因となり大変危険です。

(4)　機械の改造は絶対にしないでください。
機械の故障や事故の原因になり大変危険です。

(5)　水洗いしないでください。コントローラの破損や漏電の原因になり大変危険です。

■保管・格納・運搬は

(1)　動力を停止し、機体に付着したホコリやゴミ等をきれいに取り除いてください。特にモータなど電装品のゴミは火災の原因となります。必ず取り除いてください。

(2) 長期間格納する場合は、バッテリコネクタを抜いておいてください。抜いていない場合にはネズミ等がかじってケーブルがショートして、発火による火災の原因となり大変危険です。

(3) 子供などが容易にさわれないようにカバーをするか、格納庫に入れて保管してください。
カバー類をかける場合は、高温部が完全に冷えてから行なってください。熱いうちにカバー類をかけると火災の原因となります。

(4) トラックへの積載時は、アタッチメントやリフトを利用したロープ掛けはしないでください。無理な負荷がかかり、変形、破損等の故障の原因となる恐れがあります。

■電装品の取扱い

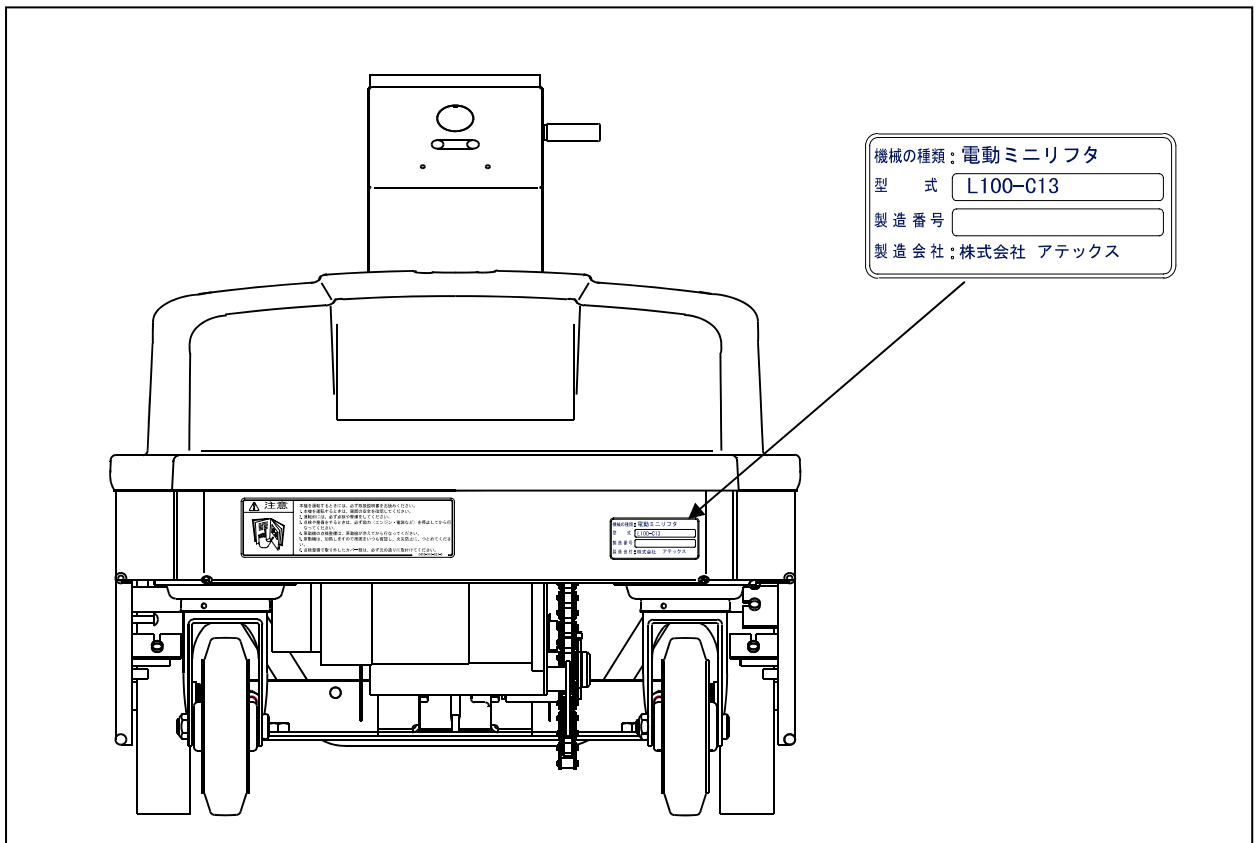
(1) 電気配線の点検および配線接続部の点検は、必ずバッテリコネクタを抜いて行なってください。これを怠ると感電等による思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

⑵　バッテリを取扱う時は、ショートやスパークさせたり、タバコ等の火気を近づけないでください。また、充電は風通しの良いところでバッテリの保水キャップを外して行なってください。これを怠ると引火爆発することがあり大変危険です。

⑶　バッテリ液（電解液）は希硫酸で劇毒物です。体や服に付けないようにしてください。失明や火傷をすることがあり大変危険です。もし、付いたときは、多量の水で洗ってください。なお、目に入った時は水洗い後、医師の治療を受けてください。

⑷　バッテリ液が下限以下になったまま使用を続けたり充電を行なうと、溶液内の各部位の劣化の進行が促進され、バッテリ寿命を縮めたり、破裂（爆発）の原因となる恐れがあり、大変危険です。

保証とサービス

■製品の保証

この製品には、保証書が添付されております。詳しくは、保証書をご覧ください。

■サービス

ご使用中の故障やご不明な点、及びサービスに関するご用命は、お買い上げいただいた販売店・特約店または指定サービス工場へご相談ください。

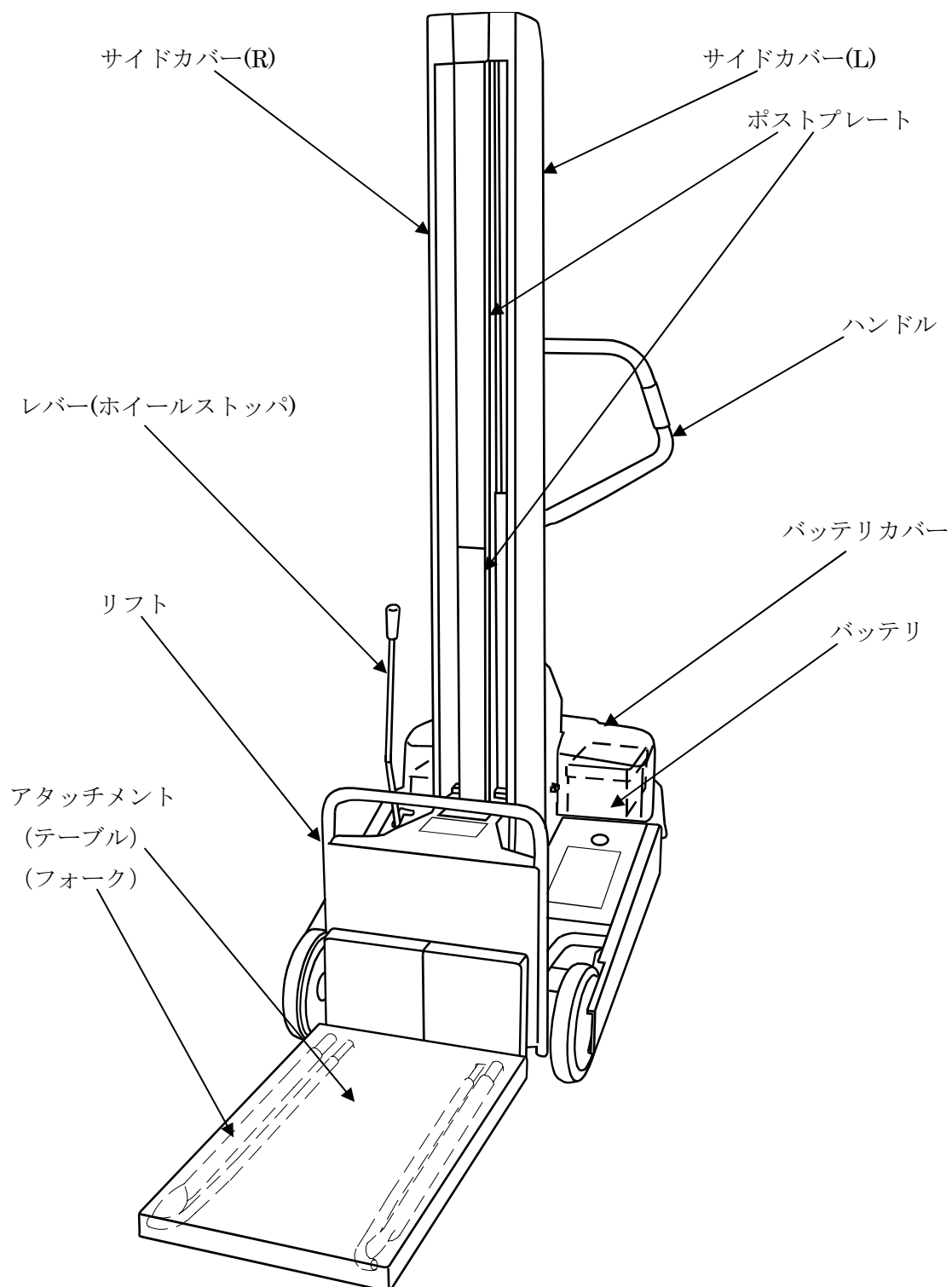
その際、型式・製造番号を併せてご連絡ください。

■補修用部品供給年限

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は製造打ち切り後１０年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただくこともあります。

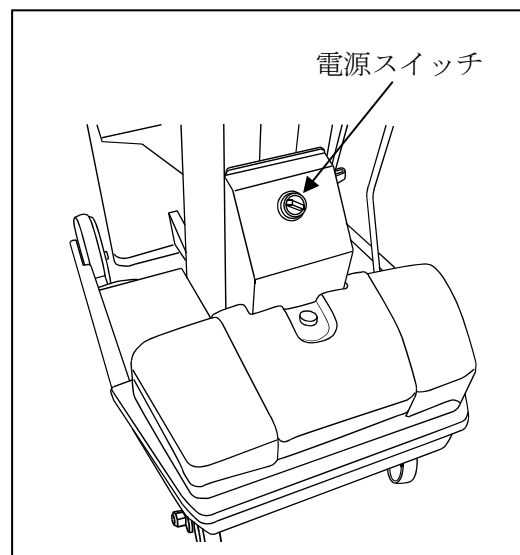
補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要望があった場合には納期及び価格についてご相談させていただきます。

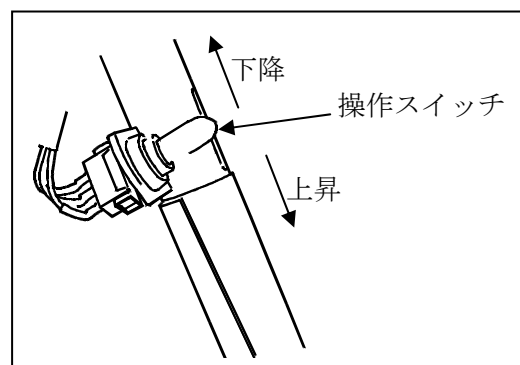
各部の名称とはたらき

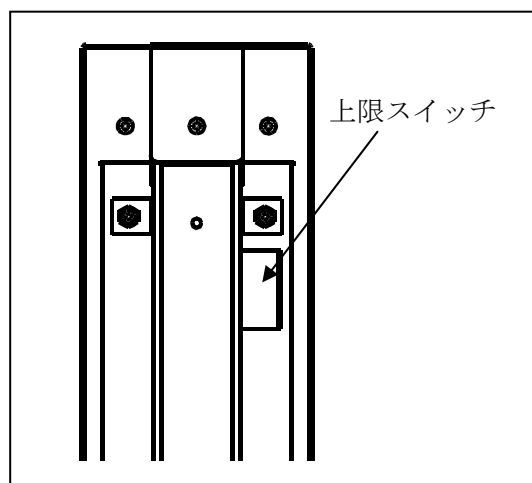
各部の名称

■　Ｌ１００－Ｃ１３

スイッチの名称とはたらき

■電源スイッチ

・電源の「入・切」に使用します。
　電源を「ＯＮ」状態にするとＬＥＤランプが
　点灯し、作業ができる状態となります。

■操作スイッチ

・リフトを上昇・下降させます。
　下側に倒す→上昇
　上側へ倒す→下降

■上限スイッチ

・最上限位置でリフト上昇を停止させるための
　スイッチです。

その他の名称とはたらき

■**ハンドル**

・機体を移動する時に使用します。

・ハンドル高さは作業者に合わせて３段階に調節可能です。

■**前輪タイヤ**

・機体を移動する時に転がして使用します。
固定輪です。

■**後輪タイヤ**

・自在輪となっており、楽に機体を旋回させることができます。

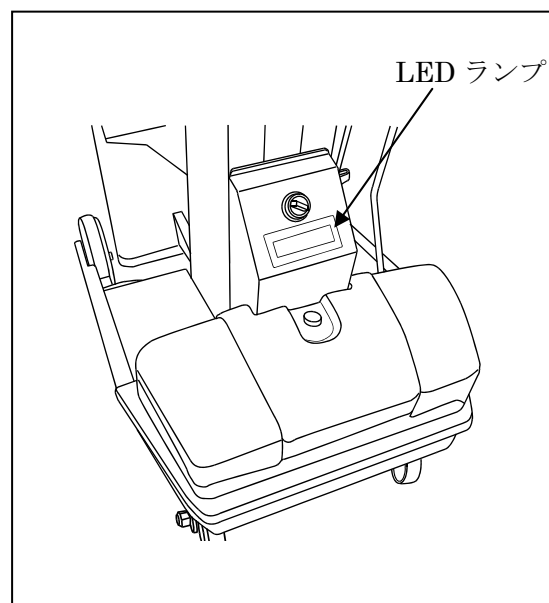
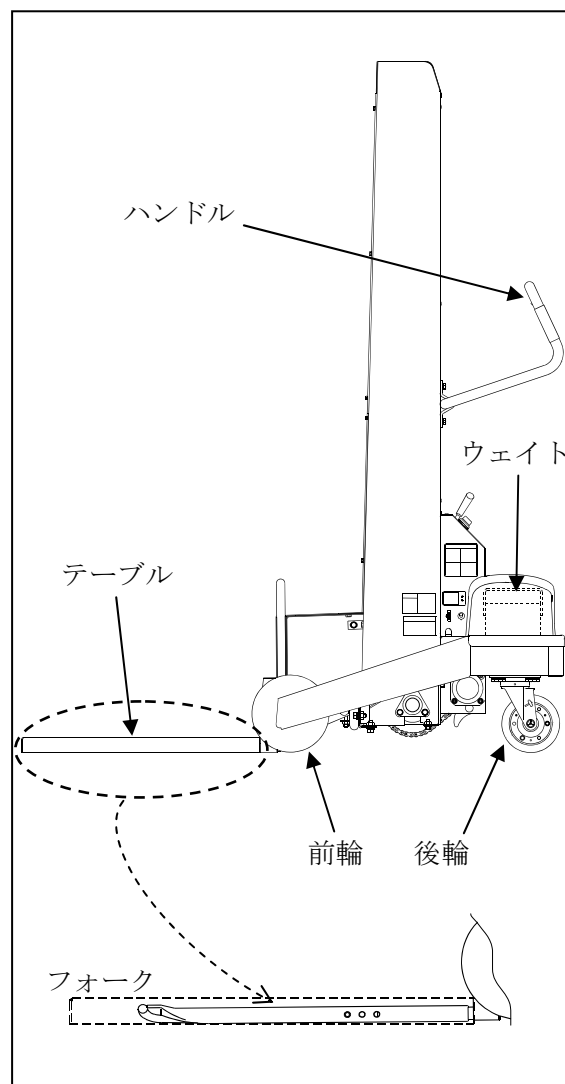
■**アタッチメント**

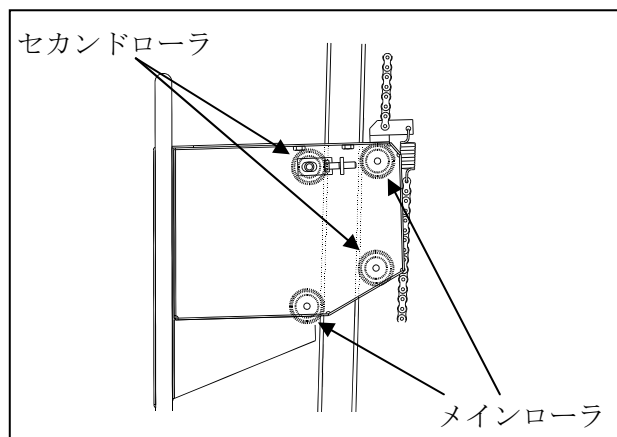
・荷物を積載します。テーブルを標準仕様としていますが、テーブルを使用しない場合はフォークとして使用できます。フォークはインナーフォークとアウターフォークで構成され３段階に伸縮できます。

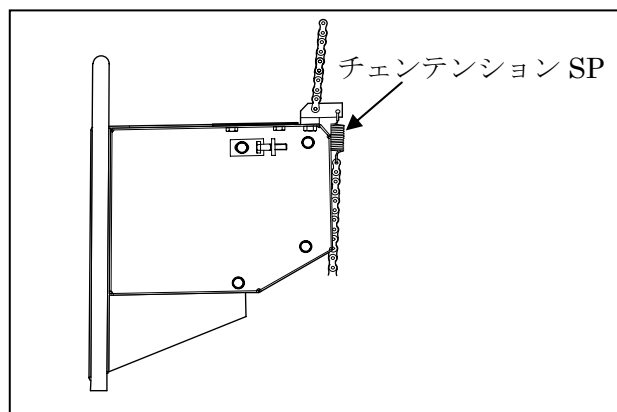
■**ウェイト**

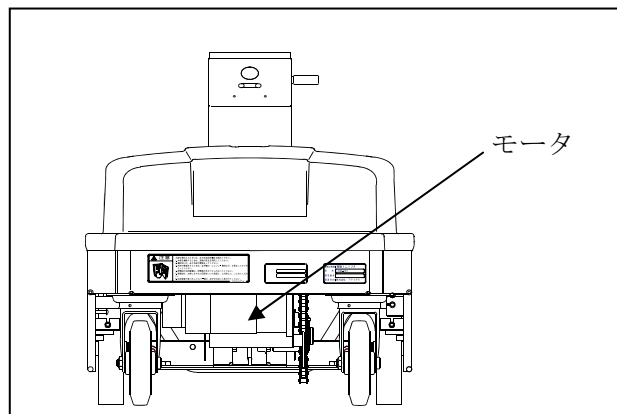
・バランスウェイトです。積載物の重量に合わせてウェイトを積載してください。
（本書２１ページ参照）

■**ＬＥＤランプ**

・バッテリの残量を表示します。
充電量が減少していく度に、右から順に消灯していきます。
残量は表示していますが、作業後は速やかに充電してください。

■メインローラ・セカンドローラ

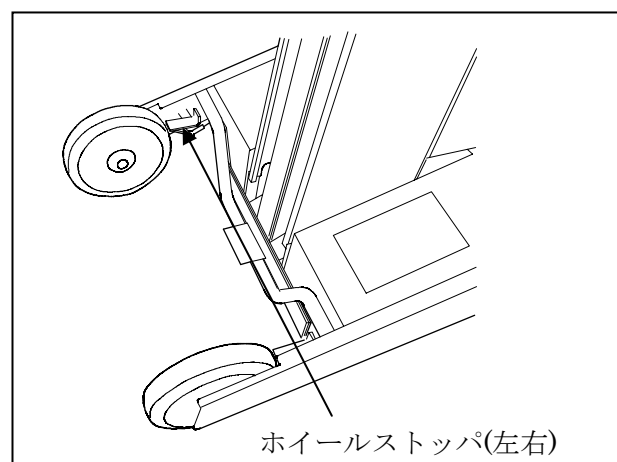
・リフトを支え、上昇・下降時回転します。

■チェンテンションＳＰ

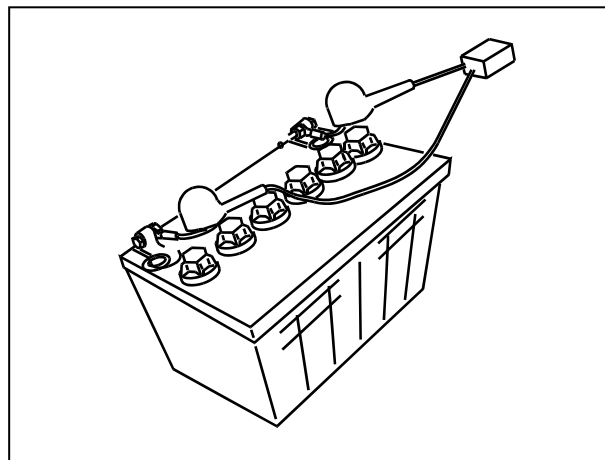
・チェンの伸び、たわみを吸収します。

■モータ

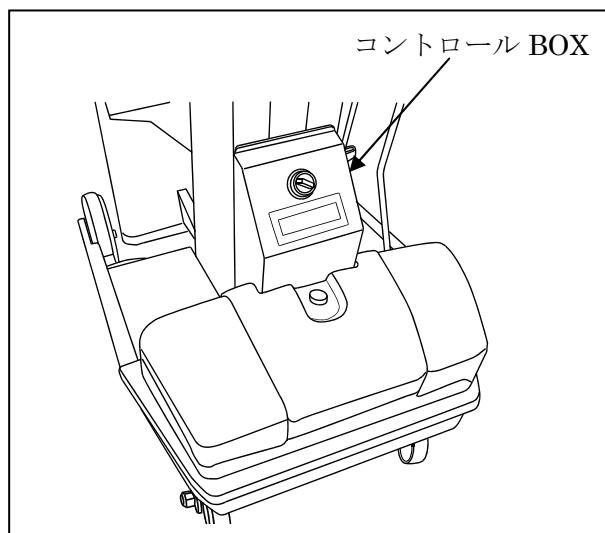
・リフトの動力源です。

■ホイールストッパ

前輪をロックし機体を保持する装置です。

荷の積み降ろし時に使用します。

機体後方のレバーで操作します。

■**バッテリ**

・モータを駆動させるための電源です。
本機は 12V バッテリを 2 個搭載した 24V
仕様です。

■**コントロールＢＯＸ**

・キバンが収納されており、上昇・下降の制御
を行ないます。
この上に乗ったり、物を載せたりしないでく
ださい。

注意

●トラブル時以外はコントロールＢＯＸのフタを外したり、外した状態での使用はしないでください。感電や漏電の原因になります。

作業の準備

使用前の点検について

■始業点検

故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。始業点検は毎日欠かさず行なってください。

点検は次の順序で行なってください。

(1) 前日、異常があった箇所

(2) 機体を確認して

確認部位	確認事項	参考ページ
車輪	異常摩耗はないですか？	P.16
ハンドル	高さは適当ですか？	P.22
スイッチ	上昇・下降はしますか？	P.23～25
チェン	たるみはないですか？	P.32
アタッチメント	取付は確実ですか？	P.21
ポストプレート	異常摩耗はないですか？	P.32~33

・車体各部の損傷及びボルト、ナットの緩み

(3) 操作して

・操作スイッチ

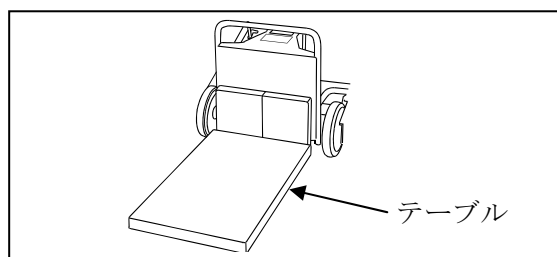
・異常音

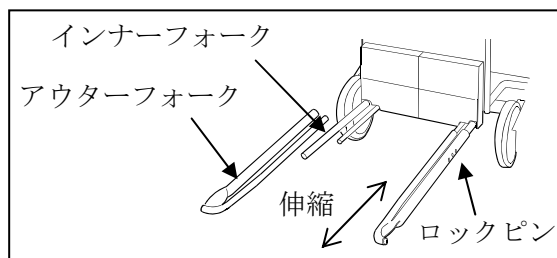
作業のしかた

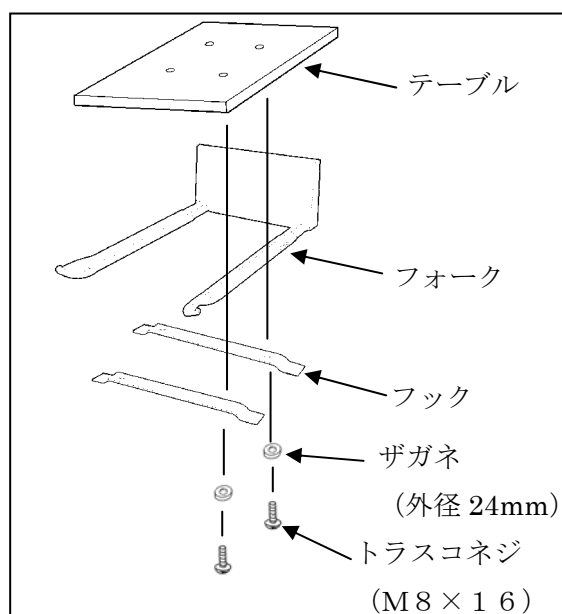
アタッチメント

本機は、標準仕様としてテーブルを設定しています。また、テーブルを使用しないときはフォークとして使用できます。作業内容に応じて使い分けることができます。

■テーブル

・荷物積載面はフラットであり、またテーブル高さが約４０ｍｍと低いため、荷物を積載しやすくなっています。

■フォーク

・３段階の伸縮式です。ロックピンを押しながらアウターフォークをスライドさせれば伸縮します。

■アタッチメントの変更

・テーブルはフォークを利用して取り付けしています。取付構成は右図の通りです。
これらの部品の取り付け・取り外しにより、アタッチメントのテーブル化やフォーク化を行なってください。

注意

●アタッチメントの変更作業を行なう際は、周囲の安全を十分確認し、平坦な場所で行なってください。

●アタッチメントの変更作業時はヘルメット等の保護具を装着してください。また、テーブルやフォークの上には荷物を載せないでください。

●アタッチメントの変更作業時はホイールストッパを作動させて機体が安定した状態で作業してください。

作業前の確認

警告

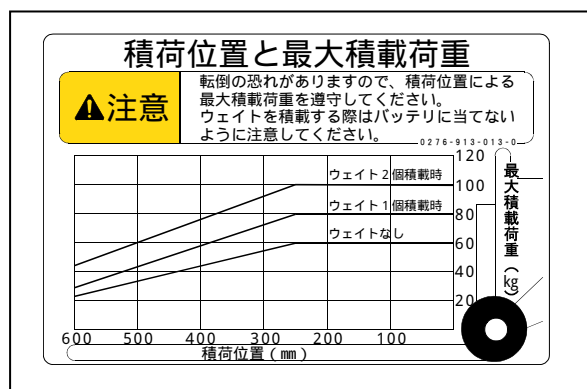
●電源スイッチを入れる際は、上下スイッチに触れないでください。アタッチメントが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。 電源スイッチを入れる前に、必ず周囲の安全を確認してください。

注意

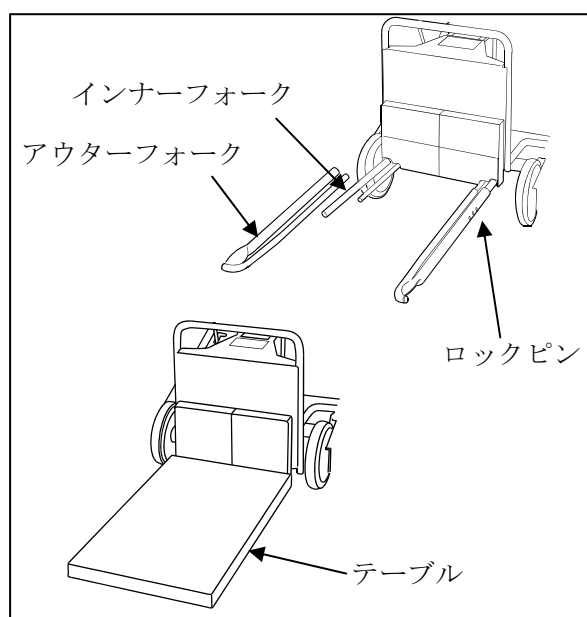
●本機は手で押すことができる平坦地（0～3°）で使用してください。無理に作業を行うと転倒や思わぬケガをする恐れがあります。

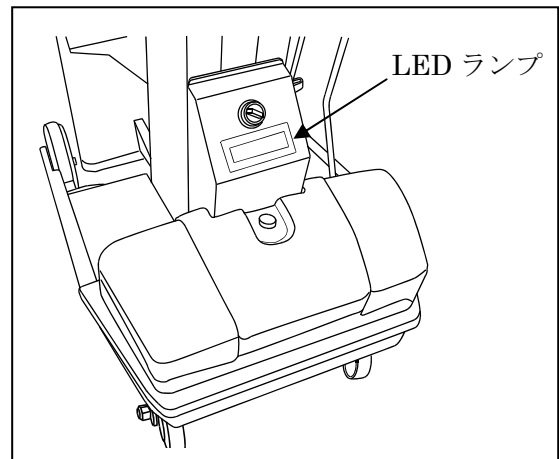
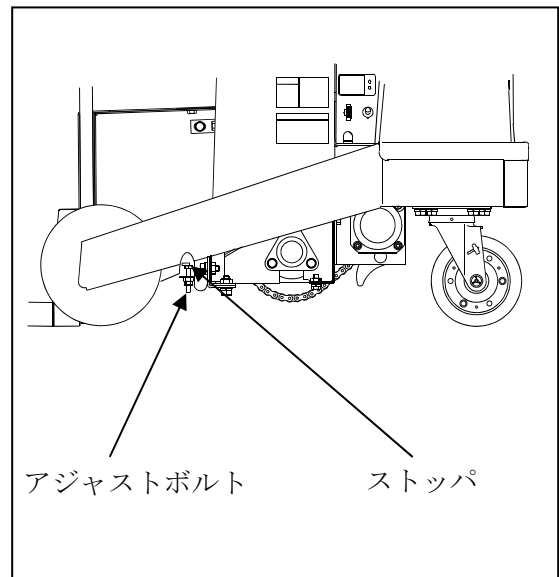
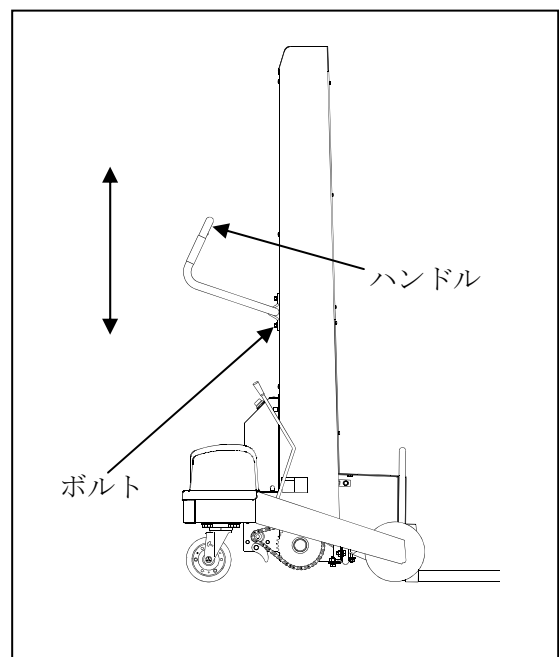
注意

●転倒の恐れがありますので、積荷位置による最大積載荷重を遵守してください。ウェイトを積載する際は、バッテリ端子と接触しないように注意してください。

(1)ウェイトを右図の積載荷重に応じて搭載してください。

(2)アタッチメントが確実に取り付けられていることを確認してください。

●テーブル；先端を手で下方へ押したとき、テーブルの浮き上がりなきこと

●フォーク；インナーフォークのロックピンがアウターフォークの穴に確実に入っていること

(3)バッテリが充電されていることを確認してください。電源スイッチを回し、LED ランプが５個点灯していることを確認してください。

・ランプが５個点灯していない場合は、充電を行なってから、作業を開始してください。

(4)アタッチメントの下限位置を確認してください。下限の位置は、アジャストボルトとストッパの接触位置を変えることで調整が可能です。調整後、ロックナットにて固定してください。

(5)ハンドルの高さが適切か確認してください。ハンドルは機体後方のハンドル調整用ボルトを外し、適切な位置で固定してください。
（調整は３段階です）

作業のしかた

注意

●機体が動く恐れがあります。

・作業する前に、周囲の安全とスイッチの位置を十分確認してください。

・急勾配での使用は避けてください。作業は手で機体を押せる平坦地（0～3°）にて行なってください。

・凹凸の激しい場所での使用は避けてください。

●水濡れ厳禁

・本機は電気製品です。電装品に水がかかると、故障の原因となります。雨降り時での屋外の使用は厳禁です。また、水洗いもしないでください。

●転倒の恐れがあります。移動のときはアタッチメント高さを地上 300mm 以下にしてください。また、積荷位置と最大積載荷重を遵守してください。

警告

●電源スイッチを入れる際、操作スイッチには触れないでください。アタッチメントが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

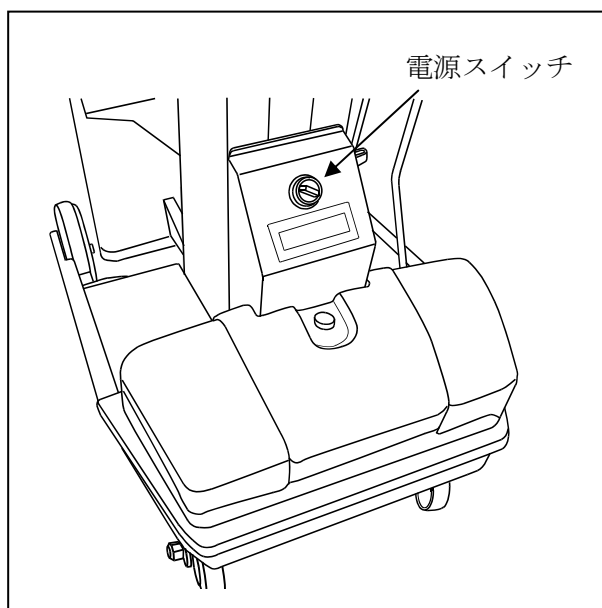
●電源スイッチを入れる前に、必ず、周囲の安全を確認してください。

警告

●最大積載量は 100kg です。過積載はしないでください。

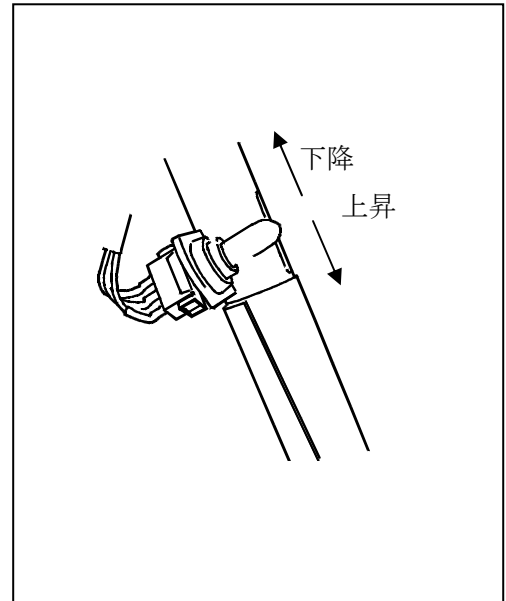
●本機に人や動物などは乗せないでください。人身事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

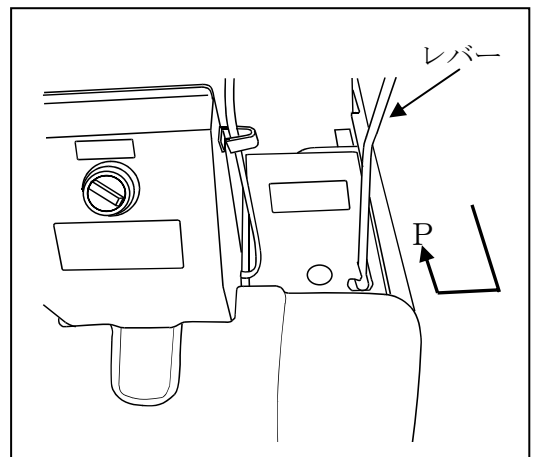
■上昇のしかた

(1)　電源スイッチを「ＯＮ」にしてください。

(2)　操作スイッチを下側に倒し、アタッチメントを上昇させます。任意の位置でアタッチメントを停止させ荷物の積み降ろしを行なってください。

重要　**●スイッチを操作している間はアタッチメントが上昇し、スイッチから手をはなせば、アタッチメントの上昇は停止します。**

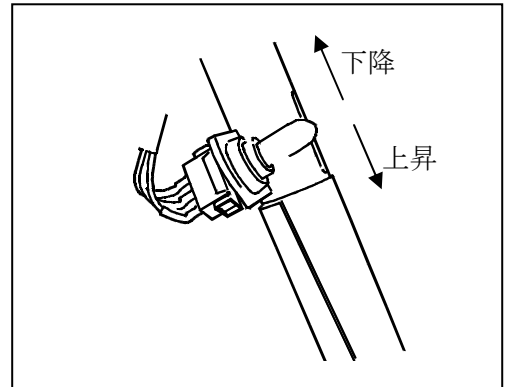
■上限での停止

上限スイッチがリフトを検知すると、自動的に停止します。（揚程約１３００mm）

■ホイールストッパ

・本機は前輪ロック式によるホイールストッパ(機体保持装置)を装備しています。荷物の積み降ろし時に使用してください。
制動させる時はレバーを操作してください。

●ホイールストッパは移動走行中のブレーキではありません。
荷崩れの恐れがありますので移動中には使用しないでください。
●平坦地（0～3°）にて使用してください。

■下降のしかた

(1)　操作スイッチを上側に倒し、アタッチメントを下降させます。任意の位置でアタッチメントを停止させ荷物の積み降ろしを行なってください。

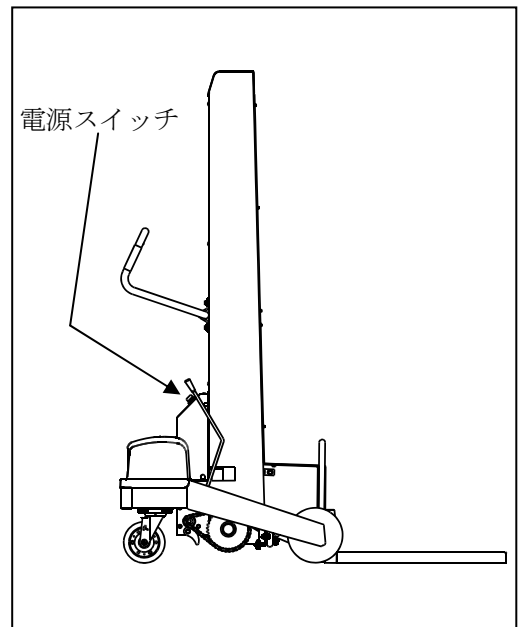
●スイッチを操作している間はアタッチメントが下降し、スイッチから手をはなせば、アタッチメントの下降は停止します。

■作業終了時の注意

作業終了時は、下記の点に注意してください。

・荷物がアタッチメントに載っていないこと。

・アタッチメントは下限まで降りていること。

・電源スイッチは OFF になっていること。

●上記条件を遵守しないと、故障の原因となったり、思わぬケガの恐れがありますので、必ず守ってください。

充電のしかた

充電に関する一般的な注意

警告

●引火爆発の恐れがあります。充電中は火気を近づけないでください。充電中は、バッテリから可燃性のガスが発生しますので、火気（ストーブ・たばこの火気等）のある場所では充電しないでください。

●感電の恐れがあります。濡れたプラグや手で充電しないでください。手の水分は拭き取ってください。濡れたプラグはよく乾燥させてください。

●充電器の取扱説明書を熟読し、理解した後、充電を行なってください。

重要

●直射日光や雨、露の影響を受けない、風通しのよい湿気のない場所で充電してください。

●長期間ご使用にならなかった場合は、使用前に必ず充電してください。

●バッテリの使いすぎ（過放電）は避けてください。バッテリの寿命が著しく短くなります。使用後はすみやかに充電してください。

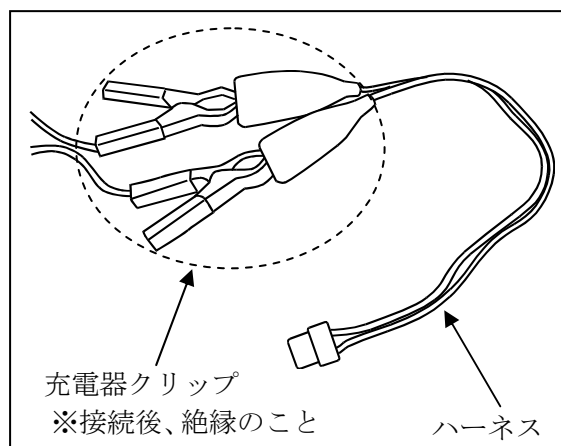
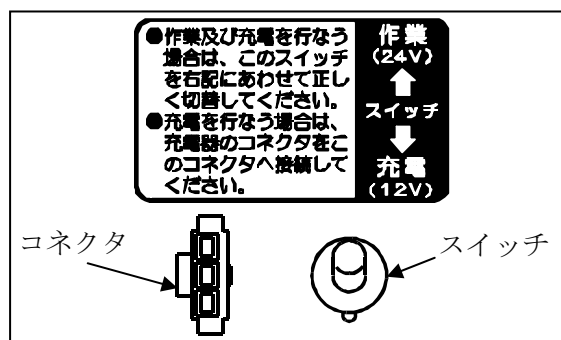
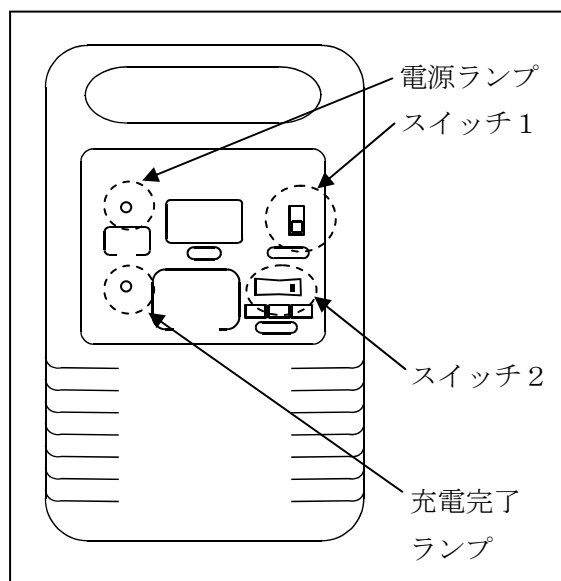
●充電が完了するまで充電コードをコンセントから抜かないでください。充電不足になり、バッテリの寿命が短くなります。
また、残量表示に関わらず、使用後はすぐに充電するように心がけてください。

●バッテリは自然放電します。長期間使用されないときでも１カ月に１度は充電してください。

充電作業

(1)　本機の電源が「ＯＦＦ」になっていることを確認してください。

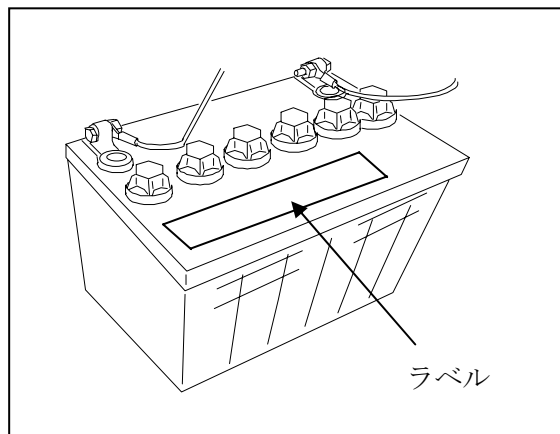
(2)　付属の充電器のクリップとハーネスのクリップを接続し、ビニールテープを接続部に巻くなどして絶縁してください。

重要　**●接続の際は極性に注意してください。**
プラス側；赤色、マイナス側；黒色

(3)　(2)で接続した充電器側ハーネスのコネクタと本機コントロールＢＯＸ左側のコネクタを接続し、スイッチを「充電（１２Ｖ）」モードに切り替えてください。

(4)　充電器について、右図に示すスイッチ１を「チャージ」側にし、スイッチ２を「四輪」側にして充電器のプラグをＡＣ１００Ｖコンセントへ差し込めば充電を開始します。
尚、充電が完了すれば充電器の電源ランプが消灯し、充電完了ランプが点灯した状態になります。

(5)　充電が完了したら、スイッチ２を「切」ににしてプラグ、コネクタを抜き、(3)で切り替えたスイッチを「作業（２４Ｖ）」モードに戻してください。これで充電作業の終了です。

バッテリの取扱い

バッテリに直接触れる場合の注意

■バッテリの点検や清掃等で直接バッテリに触れる場合は、バッテリ本体に貼り付けているラベルをよく読み、必ずその指示に従ってください

注意

●バッテリの点検や清掃等を行う際は、必ず電源スイッチ、バッテリコネクタを抜いた状態で行なってください。

●バッテリを持ち上げる場合は、バッテリ本体下部をしっかり持って行なってください。

●バッテリを分解・改造しないでください。

●バッテリを他の用途には使用しないでください。

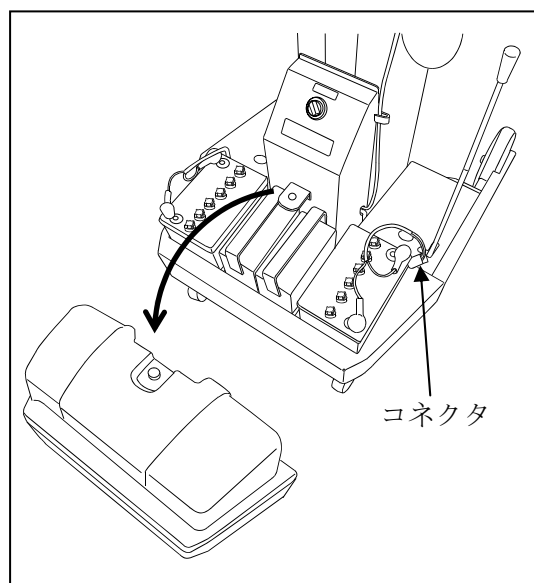
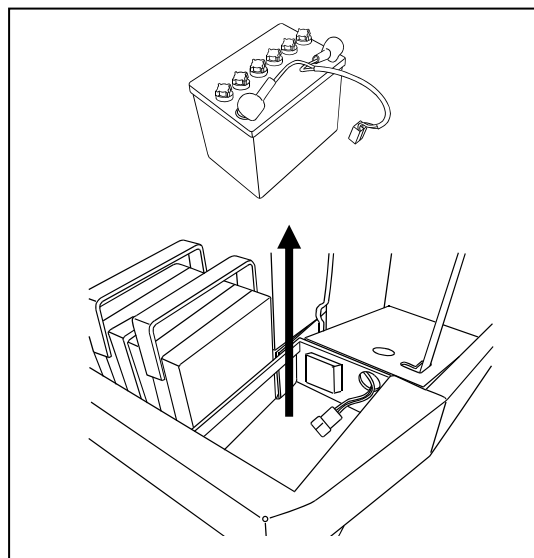
●使用済みのバッテリは、そのまま廃棄したり火の中へ投入したりせずお買い上げの販売店にご相談ください。

バッテリの取り付け・取り外し方

注意

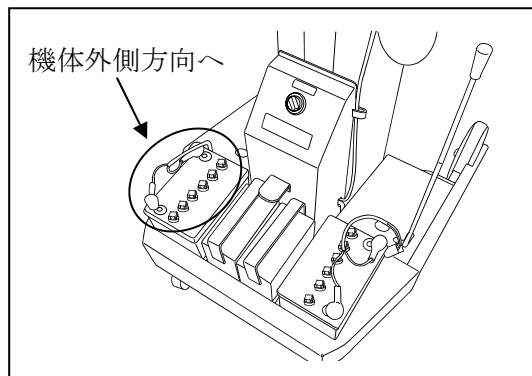
●工具などで＋、－の端子をショートさせないでください。
●バッテリは正しい位置に、正しい方向で固定してください。

■バッテリの取り外し方

⑴　ネジ１か所を外してバッテリカバーを外し、バッテリのコネクタを抜いてください。
（左右２か所）

⑵　上向きにバッテリを取り外してください。

■バッテリの取り付け方

取り付けは、取り外し時と逆の手順で行ってください。

重要 ●バッテリの端子が機体外側方向へ位置するよう取り付けてください。
（左右共に）

●バッテリにバッテリコードを取り付ける際は、極性に注意してください。
プラス側；赤色、マイナス側；黒色

●バッテリの交換が必要な場合は必ず指定の純正部品を使用してください。
これ以外のバッテリを使用すると性能、寿命の保証ができません。

純正バッテリ；３４Ａ１９Ｒ

ーバッテリは消耗品ですー

●使用期間とともに、バッテリ容量が低下し、使用時間が短くなります。

●バッテリの寿命は、使用条件（使用頻度、積載重量、作業回数）などにより異なります。

●バッテリメータのランプが 1 個消灯するまでの時間が短くなり、使用に支障をきたし始めたら、早めにバッテリを交換してください。

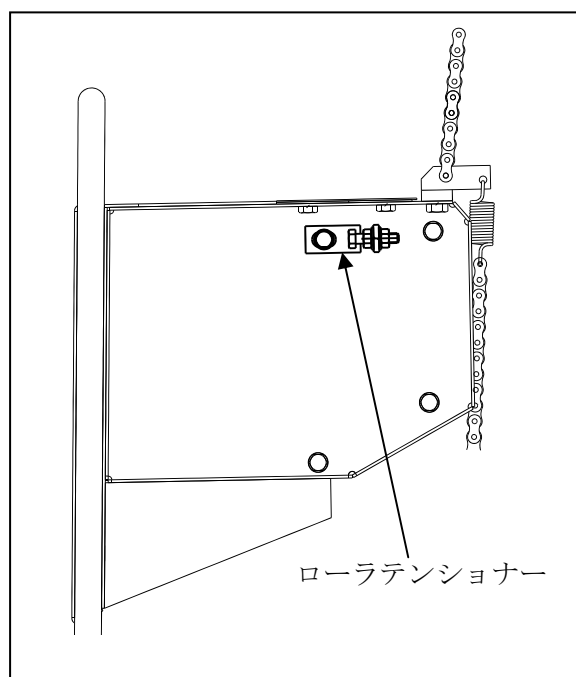
●交換の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

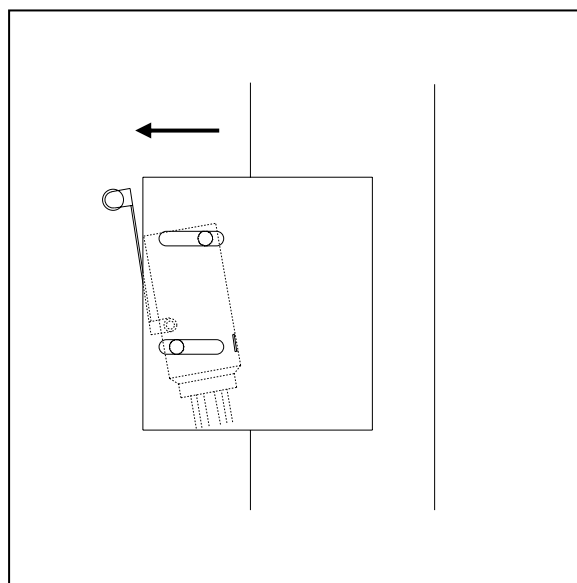
保守・点検

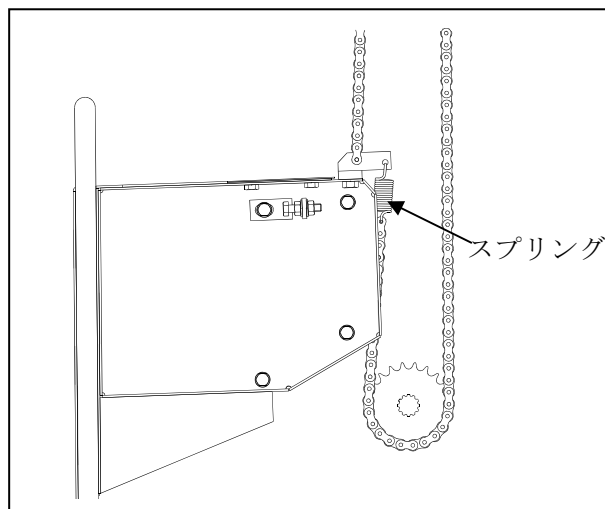
●保守・点検は、必ずバッテリコネクタを抜いて行なってください。
・改造は、事故・故障の原因となりますのでしないでください。
・部品交換は、必ず純正部品を使用してください。

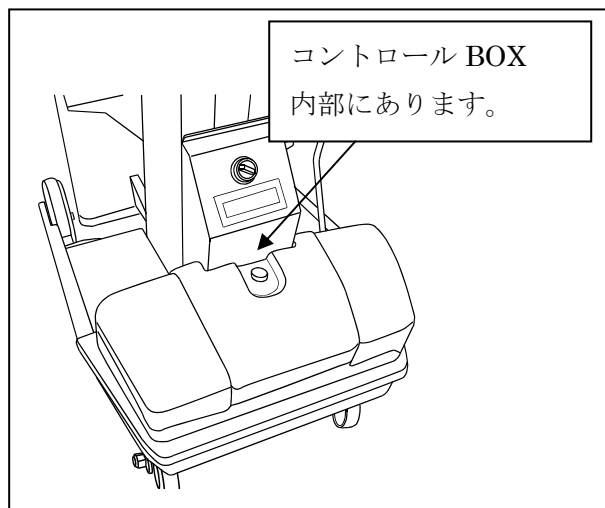
保守のしかた

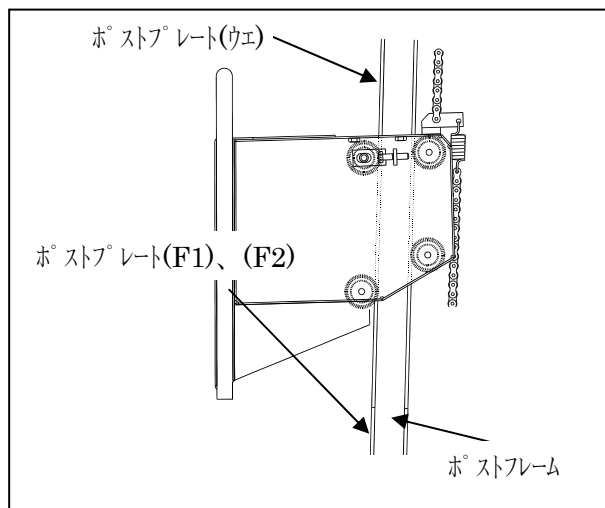
■**ローラテンショナー**

セカンドローラをポストに押し付け、アタッチメントの左右のガタを少なくします。
締付ナットを指で回し、回らなくなったらロックしてください。
強く締めすぎると、負荷が大きくなり異音や破損の原因となります。

■**上限スイッチ**

上限位置で停止しない時は、スイッチを長穴の調整範囲内で前方へ移動させ、確実にスイッチが作動する位置で固定してください。
ただし、前へ寄せ過ぎると上昇・下降時にスイッチを破損させてしまうことがありますので、適切な位置で固定してください。

■チェン

たるみがないかチェックしてください。
目安はスプリングの長さが 94～96mm です。

■ヒューズ

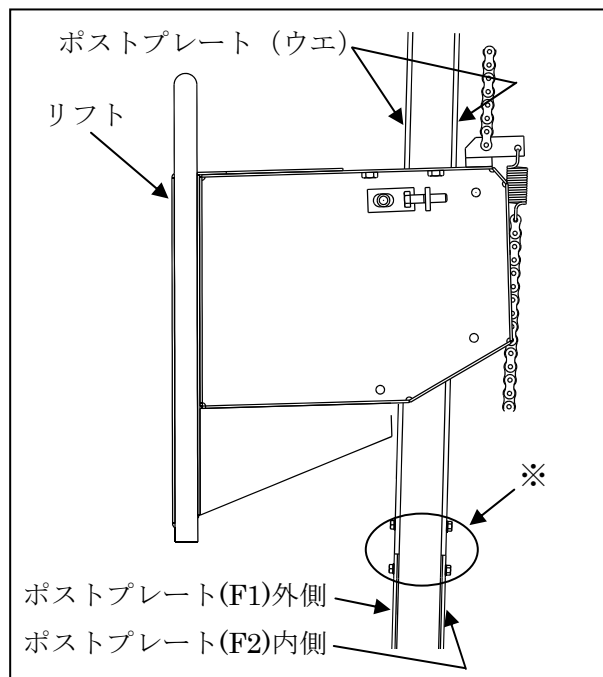
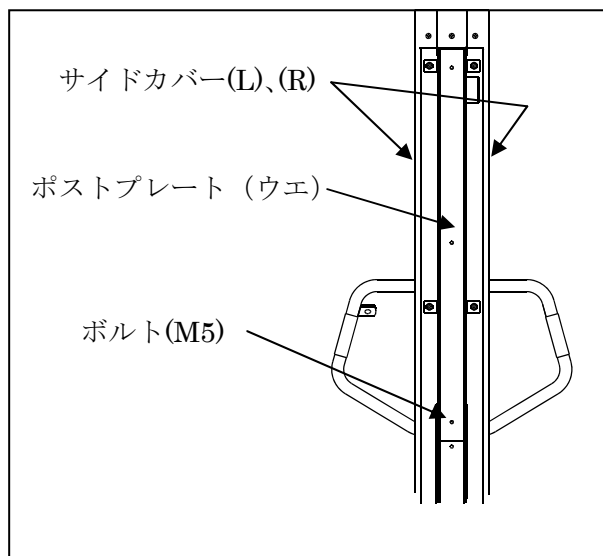
電気回路を保護するためにヒューズが取り付けてあります。電源スイッチを入れてもＬＥＤランプが点灯しない場合には、ヒューズが切れている可能性がありますので確認してください。
ヒューズが切れていたら交換してください。

■ポストプレート

フレーム保護のため、ポストフレームの両側にポストプレートを取り付けてあります。
ポストプレートが摩耗して、リフトが滑らかに上下動しなくなった場合は交換してください。

■ポストプレートの交換

1. リフトを下限位置まで下げ、電源を OFF にした後、サイドカバー(L)、(R)を取り外してください。

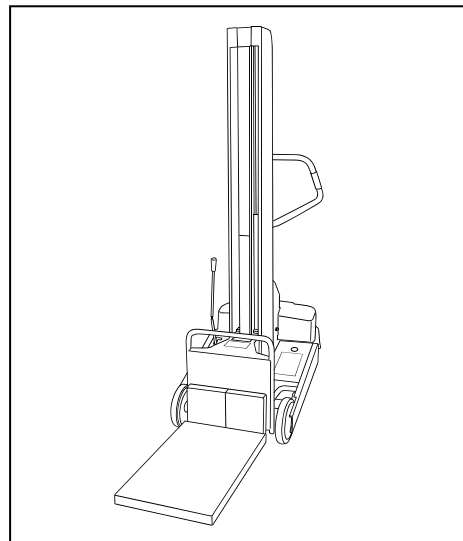
2. ポストプレート(ウエ)を交換してください。ボルトは仮締めとしておきます。

3. リフトを手で上側に引き上げた後、ポストプレート(F1)、(F2)の交換を行なってください。

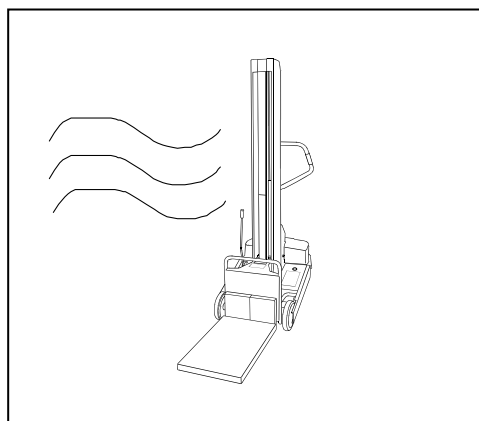
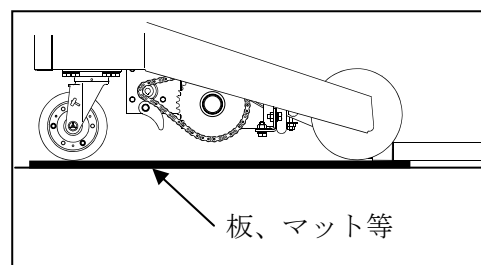
4. ポストプレート(ウエ)とポストプレート(F1)、(F2)が合わさる部分(※印部)は機体正面から見て、左右方向にずれがないように調整してからボルトを本締めしてください。

注意　●リフトを上にあげた状態で作業を行なうときは、落下防止につっかえ棒をするなど、リフト落下防止策を施してから行なってください。

■お手入れについて

機体の汚れは、絞った濡れ布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を使って拭き取り、その後、乾いた布でよく拭き取ってください。

●モータやコントローラなどの電装品には、水をかけないでください。

●故障や破損につながりますので機体に水をかけたり、ガソリン・シンナー・ベンジン等で拭いたりしないでください。

■保管について

(1) 故障や機体の破損を防ぐため、直射日光や雨・露を受けない風通しの良い場所で保管してください。

(2) 床面の車輪接地部が黒く変色・着色する場合がありますので、車輪の下に板やマット等を敷いて床面を保護してください。

重要 **●保管する時は、必ずバッテリコネクタを抜いてください。**

点検について

■安全にご使用いただくために、下表に従って点検してください。
　異常がある場合や定期点検については、お買い上げの販売店にご相談ください。
　●長期間使用しなかった場合でも、必ず定期点検を受けてください。

点 検 個 所	点 検 内 容	点 検 時 期	
		使用前点検	定期点検
スイッチ	・正常に動作しますか？	○	○
チェン	・ゆるみ、あそびはありませんか？	○	○
ロ ー ラ	・ガタはありませんか？	○	○
配 線	・ケーブルの破損はありませんか？		○
	・コネクタの緩みはありませんか？		○
全 般	・異常な音はありませんか？	○	○
	・ボルト・ナットの緩みはありませんか？		○
	・変形・損傷はありませんか？		○

注意

●点検・整備する時は、必ず電源スイッチを「ＯＦＦ」にして行なってください。
●点検・整備で取り外したカバー類は、必ず元の通り組み付けてください。
●運転直後は、モータは高温となっていますので、点検・整備する時はモータが完全に冷めてから行なってください。

不調時の対応のしかた

不調時の対応のしかた

使用中に異常が生じた時は、下表に従って点検してください。それでも異常がみられるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください

症状	点検内容
動作した時に異音がする	ローラ部の調整、チェンの張りを確認する。 Ｐ３１、３２参照
ホイールストッパ制動力低下	ケーブルの調整を行う。 Ｐ４０参照。
上昇しない	ＬＥＤランプを確認後、スイッチ・ケーブルなどを点検する。 Ｐ３７～３９参照
下降しない	

－ＭＥＭＯ－

不調時の確認場所と対応方法

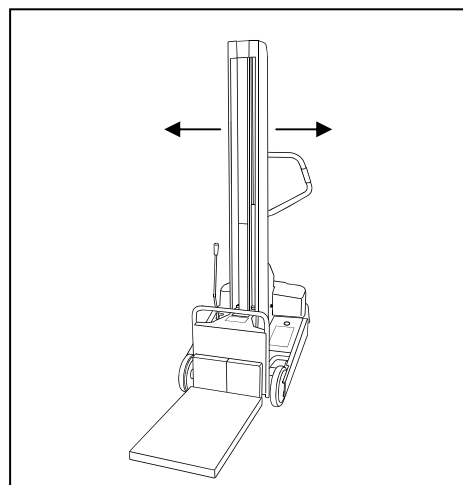
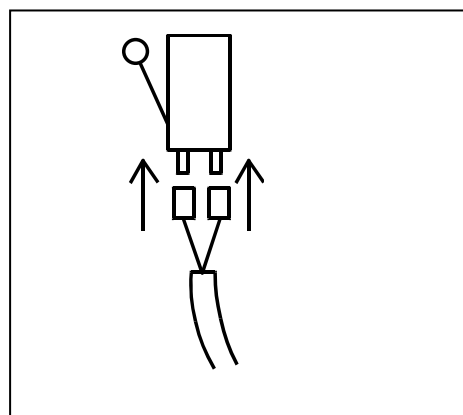
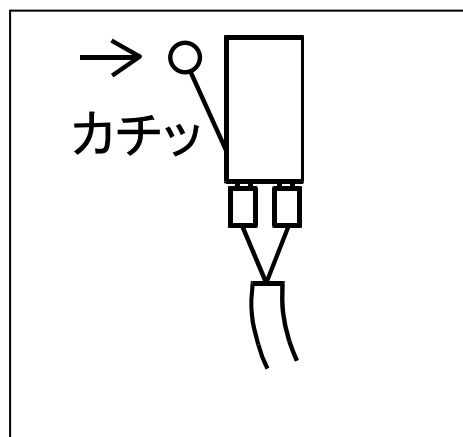
■上昇・下降しない

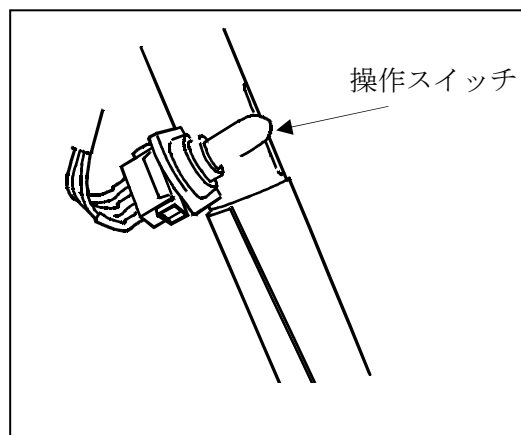
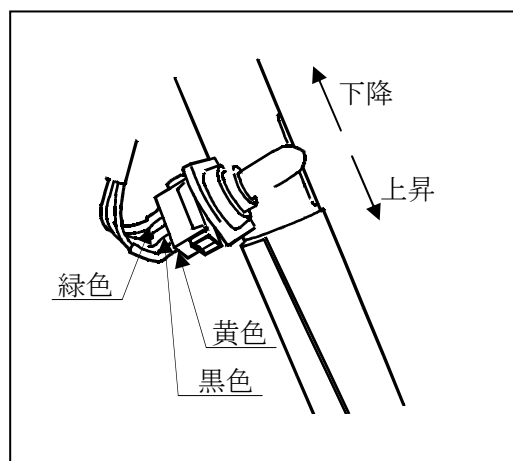
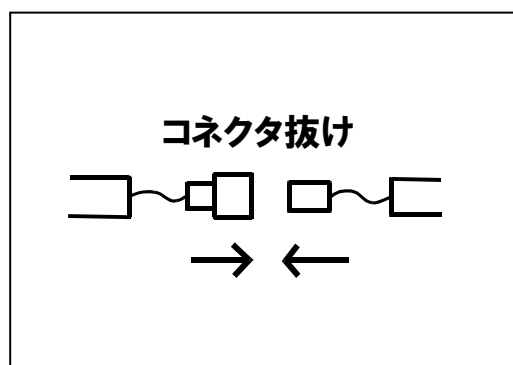
LED 表示	確認場所	対応方法
消灯	電源スイッチ「OFF」	電源スイッチをＯＮにしてください。
	バッテリ端子、コネクタの抜け	コネクタを接続してください。
	ケーブル断線	断線したケーブル交換してください。
	ヒューズ溶断	ヒューズを交換してください。
	バッテリ電圧	充電されたバッテリに交換してください。
	キバン破損	キバン交換してください。
点灯	操作スイッチ	操作スイッチを交換してください。

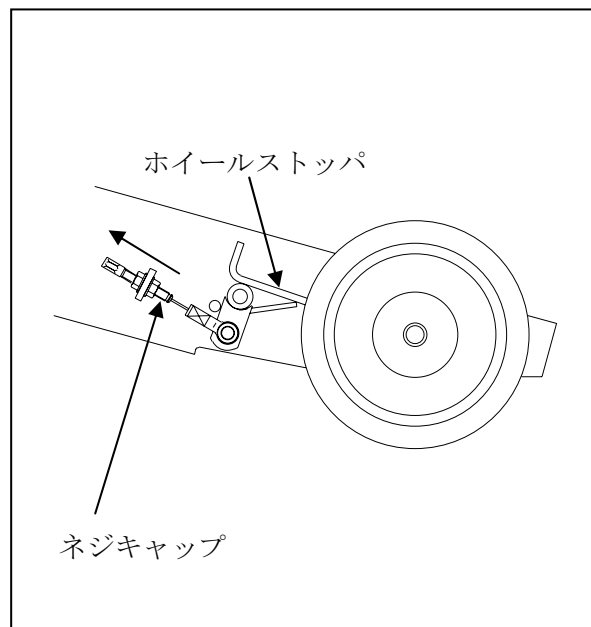
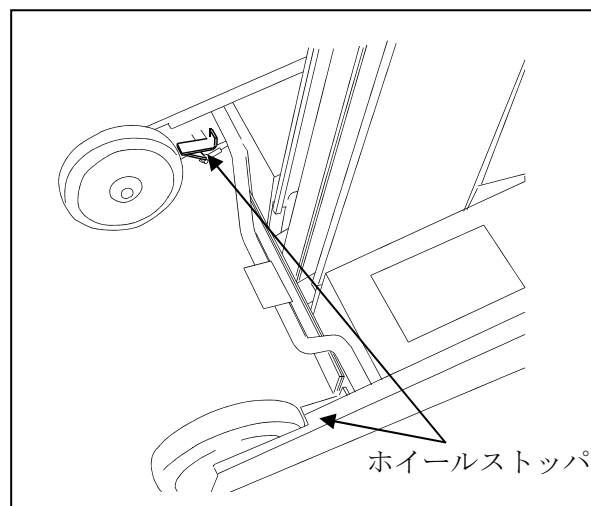
－ＭＥＭＯ－

■スイッチ確認のしかた

●上限スイッチ

⑴　両側のサイドカバーを外してください。

⑵　スイッチ端子と中継コードがしっかりと接続されているか、確認してください。

⑶　リフトの上昇下降でスイッチが押されているか確認してください。（「カチッ」と音がして押されているか確認してください。）押されていない場合は、スイッチを調整してください。　（Ｐ３１参照）

●操作スイッチ

(1)　操作スイッチがハンドルに確実に固定されているか、確認してください。

(2)　操作スイッチの取付方向が合っているかを確認してください。また、スイッチレバー部の動きに異常はないか確認してください。

(3)　コネクタの抜けやケーブルの断線が無いか確認してください。

●ホイールストッパ

(1)　ホイールストッパが前輪にしっかりと当たるようにネジキャップを→方向へ調節してください。
また、左右均等な制動力となるよう調節してください。

サービス資料

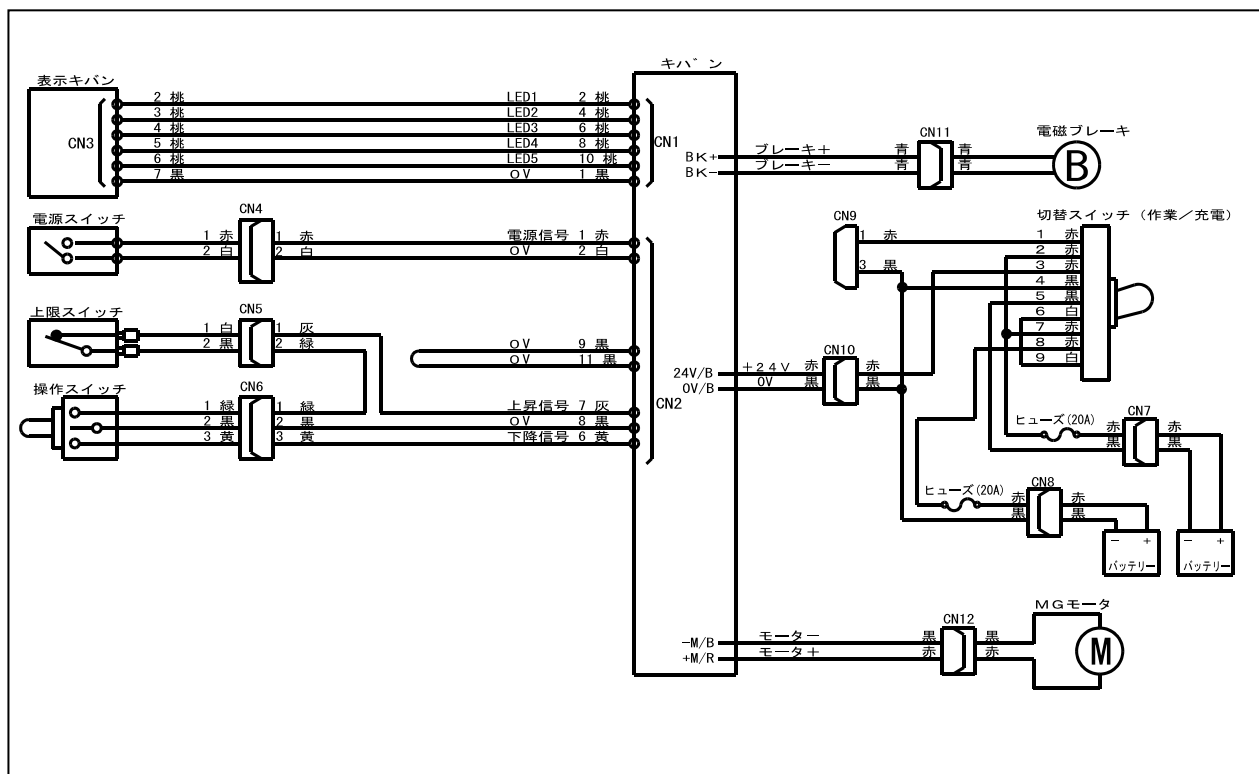
主要諸元

●この主要諸元はテーブル取付状態を示します。尚、改良のため予告なく内容変更する場合があります。

<table>
<tr><td colspan="3">名称</td><td colspan="2">電動ミニリフタ</td></tr>
<tr><td colspan="3">型式</td><td colspan="2">L100-C13</td></tr>
<tr><td rowspan="3">機体寸法</td><td colspan="2">全長(mm)</td><td colspan="2">1410</td></tr>
<tr><td colspan="2">全幅(mm)</td><td colspan="2">585</td></tr>
<tr><td colspan="2">全高(mm)</td><td colspan="2">1790</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">機体質量(Kg)</td><td>バッテリなし</td><td>136</td><td rowspan="2">ウェイト2個
(14.5kg/個)
を含む</td></tr>
<tr><td>バッテリあり</td><td>152</td></tr>
<tr><td colspan="3">最大積載量(Kg)</td><td colspan="2">100</td></tr>
<tr><td colspan="3">最大揚程(mm)</td><td colspan="2">1300</td></tr>
<tr><td rowspan="4">テーブル</td><td colspan="2">長さ(mm)</td><td colspan="2">615</td></tr>
<tr><td colspan="2">幅(mm)</td><td colspan="2">385</td></tr>
<tr><td colspan="2">高さ(mm)</td><td colspan="2">40</td></tr>
<tr><td colspan="2">ロードセンター(mm)</td><td colspan="2">250</td></tr>
<tr><td colspan="3">上昇タイム(秒)</td><td colspan="2">10～15</td></tr>
<tr><td rowspan="2">所要動力</td><td colspan="2">電源</td><td colspan="2">DC24V (DC12V24AHバッテリX2)</td></tr>
<tr><td colspan="2">原動機</td><td colspan="2">DC24V 200Wギヤードモータ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">リフト操作</td><td colspan="2">上昇</td><td colspan="2">手動(スイッチ)</td></tr>
<tr><td colspan="2">下降</td><td colspan="2">手動(スイッチ)</td></tr>
<tr><td colspan="3">前輪(mm)</td><td colspan="2">ϕ200(固定輪)</td></tr>
<tr><td colspan="3">後輪(mm)</td><td colspan="2">ϕ150(自在輪)</td></tr>
<tr><td colspan="3">充電器</td><td colspan="2">標準装備;別置
(AC100V 50/60Hz 85VA)</td></tr>
</table>

配線図

■　Ｌ１００－Ｃ１３

キバ゛ン
表示キバン
CN3
2 桃
3 桃
4 桃
5 桃
6 桃
7 黒
LED1 2 桃
LED2 4 桃
LED3 6 桃
LED4 8 桃
LED5 10 桃
ＯＶ 1 黒
CN1
ＢＫ＋
ＢＫ－
ブレーキ＋
ブレーキ－
青
青
CN11
青
青
電磁ブレーキ
B
電源スイッチ
CN4
1 赤
2 白
1 赤
2 白
電源信号 1 赤
ＯＶ 2 白
上限スイッチ
CN5
1 白
2 黒
1 灰
2 緑
ＯＶ 9 黒
ＯＶ 11 黒
操作スイッチ
CN6
1 緑
2 黒
3 黄
1 緑
2 黒
3 黄
上昇信号 7 灰
ＯＶ 8 黒
下降信号 6 黄
CN2
24V/B
0V/B
＋２４Ｖ
0V
赤
黒
CN10
赤
黒
CN9
1 赤
3 黒
切替スイッチ（作業／充電）
1 赤
2 赤
3 赤
4 黒
5 黒
6 白
7 赤
8 赤
9 白
ヒューズ(20A)
CN7
赤
黒
赤
黒
ヒューズ(20A)
CN8
赤
黒
赤
黒
バッテリー
バッテリー
－M/B
＋M/R
モーター
モータ＋
黒
赤
CN12
黒
赤
ＭＧモータ
M

主な消耗部品

消耗部品のご注文は、部品番号をお確かめの上、お買い上げいただきました販売店にご注文ください。

部品名称	使用箇所	部品番号
メインローラ（Ｆ）	リフトフレーム	0276-312-001-
セカンドローラ	リフトフレーム	0276-312-002-
Ｒ．Ｂ．Ｂ	メインローラ	V600-130-600-1
ﾁｪﾝ(ﾛｰﾗ/40SH-CX264)	リフトフレーム	0276-211-011-
ﾁｪﾝ(ﾛｰﾗ/40X48)	駆動部	0276-210-016-
ツギテリンク(40/SHC)ASSY	チェン	0276-210-018-
キャスター(200)	フレーム	0276-113-012-
リヤホイル(150)	フレーム	0276-113-011-
バッテリ３４Ａ（Ｙ）	バッテリ	0453-454-011-
ポストプレート（Ｆ1）	フレーム	0276-113-018-
ポストプレート（Ｆ2）	フレーム	0276-113-019-
ポストプレート（Ｆ/ウエ）	フレーム	0276-113-013-

注文部品の紹介

本電動ミニリフタには、下記の注文部品をご用意しております。部品注文の際は、部品番号をお確かめの上、お買上げいただきました販売店にご相談ください。

部品名称	部品の説明	部品番号
コンテナフォーク(MF)SET	コンテナ（長さ530mm×幅370mm）のリフト・運搬が可能。簡単に着脱できます。(縦積用)	0276-821-200-
コンテナヨコフォーク SET	コンテナ（長さ530mm×幅370mm）のリフト・運搬が可能。簡単に着脱できます。(横積用)	0276-822-200-

修理記録

販売店様へ

●修理を行なった際、下記表に記録してください。

修理年月日	不具合症状	修理内容	交換部品
年　月　日			
年　月　日			
年　月　日			
年　月　日			
年　月　日			
年　月　日			
年　月　日			
年　月　日			
年　月　日			

豊かさを創造し、未来へ挑戦する

株式会社アテックス

□本　　　　　社　愛媛県松山市衣山１丁目２－５　　　　　　　〒791-8524
ＴＥＬ(089)924-7161（代）　ＦＡＸ(089)925-0771
ＴＥＬ(089)924-7162（営業直通）
□東北営業所　岩手県紫波郡矢巾町広宮沢第１１地割北川５０５－１
〒028-3621
ＴＥＬ(019)697-0220（代）　ＦＡＸ(019)697-0221
□関東支店　茨城県猿島郡五霞町元栗橋６６３３　　　　　〒306-0313
ＴＥＬ(0280)84-4231（代）　ＦＡＸ(0280)84-4233
□中部営業所　岐阜県大垣市本今５－１２８　　　　　　　〒503-0931
ＴＥＬ(0584)89-8141（代）　ＦＡＸ(0584)89-8155
□中四国支店　愛媛県松山市衣山１丁目２－５　　　　　　〒791-8524
ＴＥＬ(089)924-7162　　　　ＦＡＸ(089)925-0771
□九州営業所　熊本県菊池郡菊陽町大字原水１２６２－１　〒869-1102
ＴＥＬ(096)292-3076（代）　ＦＡＸ(096)292-3423
□部品センター　愛媛県松山市馬木町８９９－６　　　　　〒799-2655
ＴＥＬ(089)979-5910（代）　ＦＡＸ(089)979-5950

０２７６－９４５－０１１－０